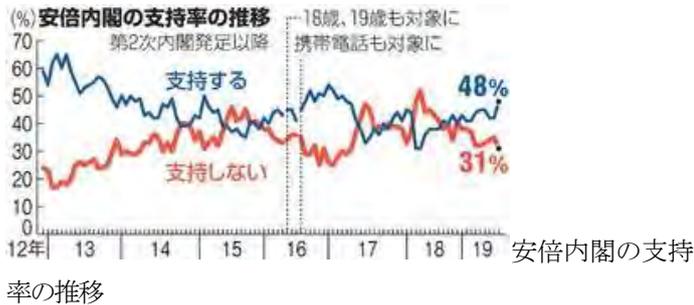


2019年9月17日～12日

世論調査（朝日、産経）、運動、野党共闘、改憲・内閣改造

内閣支持率48%に上昇、顔ぶれ評価二分 朝日世論調査

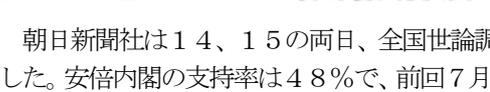
朝日新聞デジタル2019年9月16日21時04分



改造内閣の顔ぶれを... 評価する 評価しない



小泉環境大臣の就任で安倍政権のイメージは... よくなった 悪くなった



朝日新聞社は14、15の両日、全国世論調査（電話）を実施した。安倍内閣の支持率は48%で、前回7月下旬調査の42%から上昇した。不支持率は31%（前回調査は35%）だった。改造内閣の顔ぶれについて、安倍晋三首相の人事を「評価する」は35%で、「評価しない」の33%と割れた。

支持率は男性の54%（同47%）に対し、女性が42%（同37%）と低めの傾向に変化はなかった。無党派層の支持率は23%（同18%）だった。小泉進次郎氏の環境相就任で、政権のイメージが「よくなった」は31%で、「悪くなった」が6%、「変わらない」が60%と最も多かった。イメージが「よくなった」と答えた人に限ると、内閣支持率は64%だった。

安倍首相は内閣改造後の会見で憲法改正について「必ずや成し遂げていく」と改めて意欲を示した。安倍政権のもとで憲法を改正することには「賛成」が33%で、「反対」の44%を下回った。内閣支持層でも25%が反対と答えた。無党派層では50%が反対だった。

10月に10%に上がる消費増税については「賛成」「反対」ともに46%だった。今年7月中旬に同じ質問をした時には賛成42%、反対52%で反対が多かったが、今回は賛否が拮抗（きっこう）した。飲食品に軽減税率が導入され、店内と持ち帰りなどで税率が異なることへの理解度を聞くと、「十分に理解している」は28%で、69%は「十分には理解していない」。消費増税に賛成の人でも60%が「十分には理解していない」と答えた。

増税に合わせて始まるキャッシュレス決済へのポイント還元策についても尋ねた。政府は、キャッシュレス決済の普及も政策

の目的に掲げているが、キャッシュレス決済を「増やしたい」人は36%で、「そうは思わない」57%を下回った。年代別では「増やしたい」は30代が59%で最も多く、60代は23%、70歳以上は16%にとどまった。

政府は、カジノを含む統合型リゾート（IR）の開業に向けた準備を本格化させている。IRを自分が住む地域に誘致することは71%が「反対」で、「賛成」は20%だった。自民支持層も65%が反対だった。

世論調査一質問と回答（9月14、15日）

朝日新聞デジタル2019年9月16日21時05分

（数字は%。小数点以下は四捨五入。◆は全員への質問。◇は枝分かれ質問で該当する回答者の中での比率。〈〉内の数字は全体に対する比率。丸カッコ内の数字は、7月22、23日の調査結果）

◆今の政治などについてうかがいます。あなたは、安倍内閣を支持しますか。支持しませんか。

- 支持する 48（42）
- 支持しない 31（35）
- その他・答えない 21（23）

◇（「支持する」と答えた人に）それはどうしてですか。（選択肢から一つ選ぶ＝択一）

- 首相が安倍さん 10〈5〉
- 自民党中心の内閣 15〈7〉
- 政策の面 20〈10〉
- 他よりよさそう 54〈26〉
- その他・答えない 1〈0〉

◇（「支持しない」と答えた人に）それはどうしてですか。（択一）

- 首相が安倍さん 17〈5〉
- 自民党中心の内閣 24〈7〉
- 政策の面 44〈14〉
- 他のほうがよさそう 8〈2〉
- その他・答えない 7〈3〉

◆あなたは今、どの政党を支持していますか。政党名でお答えください。

- 自民党 37（34）
- 立憲民主党 7（10）
- 国民民主党 1（1）
- 公明党 3（5）
- 共産党 3（4）
- 日本維新の会 3（4）
- 社民党 1（1）
- 希望の党 0（0）
- NHKから国民を守る党 0（0）
- れいわ新選組 1（1）
- その他の政党 1（1）
- 支持する政党はない 35（30）
- 答えない・分からない 8（9）

◆安倍首相は内閣を改造しました。内閣の顔ぶれを見て、あなた

は、安倍首相の今回の人事を評価しますか。評価しませんか。

評価する 35
評価しない 33
その他・答えない 32

◆あなたは、安倍政権のもとで憲法改正をすることに、賛成ですか。反対ですか。

賛成 33
反対 44
その他・答えない 23

◆安倍首相の自民党総裁の任期は2021年9月までです。あなたは、次の自民党総裁として、だれがふさわしいと思いますか。(択一)

石破茂さん 18
岸田文雄さん 6
茂木敏充さん 3
河野太郎さん 8
菅義偉さん 8
加藤勝信さん 1
小泉進次郎さん 22
この中にはいない 27
その他・答えない 7

◆小泉進次郎さんが環境大臣に就任したことで、あなたの安倍政権に対するイメージは、よくなりましたか。悪くなりましたか。それとも、変わりませんか。

よくなった 31
悪くなった 6
変わらない 60
その他・答えない 3

◆立憲民主党と国民民主党が、自民党に対抗するために、国会で統一会派を組むことを、大筋で合意しました。あなたは、立憲民主党と国民民主党が統一会派を組むことを評価しますか。評価しませんか。

評価する 38
評価しない 36
その他・答えない 26

◆消費税についてうかがいます。あなたは、消費税を予定通り、10月に10%に引き上げることに賛成ですか。反対ですか。

賛成 46
反対 46
その他・答えない 8

◆10月からは、食品の種類や食べる場所によって消費税率が異なります。あなたは、こうした税率の違いを十分に理解していますか。十分には理解していませんか。

十分に理解している 28
十分には理解していない 69
その他・答えない 3

◆消費税が上がった後、電子マネーやクレジットカードなどで買い物をする、店によってはポイントが還元されます。あなたは、現金を使わないキャッシュレスの利用を増やしたいと思います

か。そうは思いませんか。

増やしたい 36
そうは思わない 57
その他・答えない 7

◆あなたは、韓国は好きですか。嫌いですか。特にどちらでもないですか。

好き 13
嫌い 29
どちらでもない 56
その他・答えない 2

◆あなたは、安倍政権の韓国に対する姿勢を評価しますか。評価しませんか。

評価する 48
評価しない 29
その他・答えない 23

◆あなたは、日本と韓国の関係悪化で、経済や文化の交流に影響が出ることを、どの程度心配していますか。(択一)

大いに心配している 14
ある程度心配している 42
あまり心配していない 29
全く心配していない 12
その他・答えない 3

◆あなたは、自分が住む地域に、ギャンブルができるカジノを含む統合型リゾートを誘致することに賛成ですか。反対ですか。

賛成 20
反対 71
その他・答えない 9

◇

《調査方法》 コンピューターで無作為に電話番号を作成し、固定電話と携帯電話に調査員が電話をかけるRDD方式で、14、15の両日に全国の有権者を対象に調査した。固定は有権者がいると判明した2027世帯から1010人(回答率50%)、携帯は有権者につながった2172件のうち914人(同42%)、計1924人の有効回答を得た。

内閣支持率51・7%、5・1ポイント増 期待する閣僚トップは小泉進次郎氏 本社・FNN合同世論調査

産経新聞 2019.9.16 11:50

産経新聞社とFNN(フジニュースネットワーク)は14、15両日、合同世論調査を実施した。安倍晋三内閣の支持率は51・7%で、前回調査(8月3、4両日)と比べ5・1ポイント増えた。支持率が5割を超えたのは7月以来2カ月ぶり。11日に発足した第4次再改造内閣への期待感を反映したものとみられる。

内閣改造・自民党役員人事を「評価する」との回答は43・2%で、「評価しない」の35・1%を上回った。再改造内閣に「期待する」と回答の割合は59・2%で、「期待しない」の35・2%を大きく上回った。

小泉進次郎衆院議員の環境相への起用を「よいと思う」との回答は74・1%に上った。最も活躍を期待する閣僚を尋ねたところ

ろ、小泉氏が48・9%でトップだった。

内閣改造で麻生太郎副総理兼財務相と菅義偉官房長官、自民党役員人事で二階俊博幹事長と岸田文雄政調会長を留任させた人事の是非については、菅氏の留任を支持する回答は72・5%と多く、岸田氏も54・7%と半数を超えた。一方で、二階氏は39・7%にとどまった。

次期首相にふさわしい政治家を聞いた質問では、安倍首相が17・3%と最も多く、石破茂元幹事長が16・0%で続いた。最も期待する閣僚でトップだった小泉氏は14・3%と僅差で3位だった。

再改造内閣が優先して取り組むべき課題については、社会保障(34・0%)や経済対策(22・6%)を挙げる割合が高く、安倍首相が掲げる憲法改正は4・7%だった。

10月1日の消費税率引き上げに伴う景気の悪化を「心配している」と答えた人は59・4%で「心配していない」は37・3%。政府の景気対策を「十分」と思う人は9・5%で、「不十分」は81・1%に上った。

進次郎氏「次の首相」3位 国民的な人気まざまざと 産経・FNN合同世論調査

産経新聞 2019.9.16 22:19

産経新聞社とFNN(フジニュースネットワーク)の合同世論調査で、第4次安倍晋三再改造内閣で最も活躍を期待する閣僚を聞いたところ、小泉進次郎環境相が48・9%に上り、トップとなった。小泉氏は幅広い年代から支持を得ており、次の首相にふさわしい政治家を問う質問でも3位に入るなど、国民的な人気の高さを見せつけた。

小泉氏に期待すると回答した人のうち、女性の割合は56・8%で男性を上回った。小泉氏に期待する女性を年代別に見ると、最も人気が高かったのは50代の64・5%で、10、20代が57・3%、60代以上が51・9%と続いた。男性も50代が最も多く、51・2%だった。

支持政党別では、自民党支持層からの回答が56・2%と全体の半数を超えた。一方で立憲民主党や国民民主党などの支持層からも小泉氏に期待するとの回答があり、19閣僚のうち唯一、与野党全政党の支持層から回答を集めた。

次の首相にふさわしい政治家を尋ねたところ、小泉氏は14・3%で3位。トップは安倍首相の17・3%で、石破茂元幹事長が16・0%で続いた。新元号の発表役を務め、「令和おじさん」の愛称で知名度が向上し、「ポスト安倍」に浮上した菅義偉(すが・よしひで)官房長官は6・3%で4位につけた。

政党別に見ると、安倍首相は自民党支持層の28・4%から回答を集めた。小泉氏は14・2%にとどまったが、無党派層の15・6%からも回答を得た。小泉氏は16日も台風15号被災地の千葉県南房総市を視察するなど、環境相としての活動を積極的に行っている。「進次郎さんは自民党の宝だ」(自民ベテラン議員)との声も上がるが、ポスト安倍候補の一人として注目を集めるだけに、自身の言葉通り「真価が問われる」。(今仲信博)

質問と回答(9月)

産経新聞 2019.9.16

【問】安倍晋三内閣を支持するか
支持する51・7(46・6) 支持しない31・9(38・1)
他16・4(15・3)

【問】どの政党を支持しているか
自民党39・5(37・4)
立憲民主党8・6(8・7)
国民民主党1・4(2・0)
公明党3・5(4・6)
共産党2・7(3・4)
日本維新の会5・1(7・1)
社民党0・6(0・4)
NHKから国民を守る党1・2(1・3)
れいわ新選組2・2(1・6)
その他の政党1・3(0・6)
支持する政党はない32・9(31・9)
他1・0(0・9)

…
有料会員向け記事こちらは有料会員記事です

しんぶん赤旗 2019年9月15日(日)

憲法にラブソングを シスターら 3000万人署名訴え 東京・新宿



(写真)改憲反対の3000万人署名を呼びかけるシスターら=14日、東京・新宿駅西口

「過ちあるところに優しい心の許しを 疑いあるところに信仰があるように」

東京・新宿駅西口の雑踏のなか、修道院のシスターたちの歌声が響きます。14日、カトリックのシスターをはじめとする宗教者たち約50人が、安倍9条改憲反対3000万人署名を訴えました。

「日本カトリック正義と平和協議会」など6団体が共催する「SISTERS ACT憲法にラブソングを」の7回目の行動です。

呼びかけ人の一人、ベリス・メルセス宣教修道女会の清水靖子さん(81)は、1980年からミクロネシアに派遣され、現地のお年寄りの体験を聞きました。「日本がどんなに残酷な加害者だったか、私たちは忘れてはなりません」と語ります。「再び加害者とならないためにも、お祈りのなかで願うだけでなく、街頭で訴えなければ」とシスターたちに行動を提起しました。

初めて参加した都内のカトリック教会のシスター(78)は「ここに立つだけで勇気がいります。でも、心ある方が署名を寄せてくださって心強い。戦争は神の教えに反することです」と語りました。川崎市から買い物に来た女性(74)は、「戦争を起こさ

せないために」と署名しました。

しんぶん赤旗 2019年9月12日(木)

「性的合意」を刑法に フラワーデモ 伊藤詩織さんら訴え

今年3月に続いた性暴力犯罪の無罪判決に抗議し、刑法改正や被害者に寄り添う社会づくりを求めるフラワーデモが11日夜、全国各地で開催されました。新たに青森や佐賀など、21都道府県で呼びかけがありました。



(写真) 性暴力を許さない

と集まったフラワーデモの参加者。発言するのは伊藤詩織さん＝11日、東京都千代田区

東京駅前の広場にも、色とりどりの花束を手にした約200人が集まりました。呼びかけ人のひとり、北原みのりさんの「被害者がおびえずに生きられるよう、社会を変える世論をつくってほしい」とのメッセージが読み上げられました。

元TBSワシントン支局長の山口敬之氏から性的暴行をされたと訴えているジャーナリストの伊藤詩織さんが、被害を受けたときの服を身に付けてスピーチ。どんな服を着ていても、どんな場所にいても、それは性的合意が成立しているわけではないと訴え。「どれぐらい抵抗したのかを問題にする日本の刑法を、性的合意があったことを加害者に証明させる方向へ変えてほしい」と語り、「性的合意」の重要性を広める「#私がそれを着たいから」をネットで広めてほしいと呼びかけました。

日本共産党の吉良よし子参院議員、池内さおり前衆院議員が参加しました。

しんぶん赤旗 2019年9月16日(月)

ここで止まらない 多様性認め合うLGBTパレード さっぽろレインボープライド

多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きられる街にしたいとの願いがあふれました。15日、札幌市中心街を歩行者天国にして「さっぽろレインボープライド2019」(同実行委員会主催)が行われました。

色とりどりの風船や7色のレインボー旗が翻り、自身の思いを書いたプラスターを掲げたパレード。沿道にはスマホを手にした人たちが切れ目なく並び、「頑張っ〜」と声援が飛んでいました。



(写真) カラフルなスタイルで

アピールする人たち＝15日、札幌市

「だんだんとマスコミでLGBT(性的少数者)が取り上げられるようになって、私たちは住みやすくなってきています」と苦小牧出身だと話すパルプさん(41)。「でもここで止まっちゃいけない。もっと広げて、まわりに言えない人たちがカミングアウトできる社会にしていきたい」

北区の女性(23)は「パレードを見てもらって、一番は自分が楽しい。みんな一緒に楽しめるって知ってほしい。“LGBT”だと区別するのもおかしいよね」といいます。

北海道大学のLGBTsサークルのメンバー、しゅうしゅうさん(20)は「私たちみたいな人が身近にいると北大生もわかっていないんじゃないかな。LGBTの人が身近にもいるんだよ、こういう場があるんだよと知ってほしい」とうれしそうに語りました。

日本共産党の志位和夫委員長が応援メッセージを寄せ、読み上げられると会場から拍手が湧き上がりました。

しんぶん赤旗 2019年9月16日(月)

さっぽろレインボープライド 志位和夫委員長 応援メッセージ

15日の「さっぽろレインボープライド」への日本共産党の志位和夫委員長の応援メッセージを紹介します。

さっぽろレインボープライドにお集まりの皆さん、こんにちは。熱い連帯のメッセージを送ります。

レインボープライドは、誰もが自分らしく生きられる社会、多様性を認め合う豊かな社会をめざして、先駆的なとりくみを進めてこられました。生きづらさを抱えたすべての人が、もっと自由に、もっとのびのびと生きられる社会をめざして、手を携えて進んでこられました。私たち日本共産党も、皆さんの先駆的な運動に学びながら、一緒に歩いていきたいと思ひます。

私たちは今、「個人の尊厳とジェンダー平等を前にすすめる政治をつくろう」「差別と分断のない社会をみんなの力でつくろう」という目標を掲げ、他の野党の皆さんとも一緒に、同性婚も選択的夫婦別姓も認める民法改正、自治体のパートナーシップ条例・制度の推進、「LGBT差別解消法」、社会のあらゆる場面での権利保障、理解促進をすすめようとしてとりにくんでいます。それは誰もが生きやすい、カラフルでパワーにあふれた社会につながる道だと確信しています。

今日パレードにご一緒できないのは残念ですが、心の中では皆さんとともに歩いています。ともにがんばりましょう。

<ラグビーW杯>LGBT 原宿から世界へ 多様性、発信トライ 交流拠点20日開設

東京新聞 2019年9月13日 夕刊

20日開幕のラグビーワールドカップ(W杯)日本大会に合わせて、海外や国内各地から訪れるLGBTなどの性的少数者らが交流する施設「プライドハウス東京2019」が東京・原宿にオープンする。同様の施設は五輪やサッカーW杯で設けられているが、ラグビーW杯では初。日本での設置も初めてだ。日本ラグビーフ

ットボール協会も後援し、理解促進に向けてスクラムを組む。
(奥野斐)



「世界の注目が集まる機会にLGBTについてポジティブな発信をしたい」。運営団体代表の松中権 (ごん) さん (43) はそう話す。来年の東京五輪・パラリンピックでも開設する予定だ。

プライドハウスは、二〇一〇年バンクーバー冬季五輪で地元NPOが設けたのが始まり。一二年のロンドン五輪、一六年のリオデジャネイロ五輪、一四年のサッカーW杯ブラジル大会でも設けられた。国によって性的少数者が差別や迫害を受けることがあるため、当事者や家族、支援者らが交流や情報発信を行い、安心して過ごせる場所となっている。大会の開催国が多様性を認める国であると発信することにもつながる。

プライドハウス東京は、NPO法人など約三十の団体・個人と企業十数社が共同で運営。女子サッカー元日本代表の大滝麻未 (あみ) 選手も参加し、野村ホールディングスなど五輪スポンサー企業が協賛、オランダやカナダなどの大使館も後援している。

六色のレインボーで表現したプライドハウスのロゴは、二〇年東京五輪・パラリンピックの公式エンブレムを担当した美術家の野老 (とこ) 朝雄さんが手掛けた。野老さんは「人と人、いろんな世代がつながる場になれば。将来はこうした動きがなくても、多様性を認め、誰もが安心して過ごせる社会になってほしい」と話す。

原宿の施設では、LGBTを紹介した世界の絵本を集めたライブラリーを設置。多様性について学ぶ子ども向けワークショップや、日本のLGBTの歴史や文化を紹介する映像上映、冊子の配布などをする。ゲイ (男性同性愛者) を公表し、今大会で主審を務めるナイジェル・オーウェンスさん (英国) のトークショーも計画している。

松中さんによると、スポーツ界は男らしさなどの性的な規定が強く、競技の男女分けが明確なこともあり、偏見や差別を受ける当事者も少なくない。

プライドハウス東京は、「多様性と調和」を基本コンセプトに掲げる東京五輪を前にLGBTへの理解を広げようと、八月には日本ラグビーフットボール選手会の選手らにLGBT研修も実施。ラグビーW杯開催前日の十九日には、選手会との間で、ラグビー界での理解促進について協定を結ぶ。

松中さんは「ラグビーから五輪へ、多様性の発信の面でも盛り上げ、東京五輪大会後はレガシーとしてLGBTの常設施設づくりにつなげたい」と展望する。開設は二十日～十一月四日の午後

一時～午後六時。火曜定休。東京都渋谷区神宮前六の「subaCO (サブコ)」内。イベント情報はホームページ (「プライドハウス東京」で検索) へ。



しんぶん赤旗 2019年9月16日(月)

平和・表現の自由語る 九条美術の会 ちば・志田氏が講演

全国的美術家・美術関係者でつくる「九条美術の会」は15日、東京都内で講演会を開き、約130人が参加しました。漫画家のちばてつやさんと憲法学者で武蔵野美術大学教授の志田陽子さんが平和や表現の自由への思いを語りました。



(写真) 九条

美術の会の講演会で戦争体験を語る、ちばてつやさん=15日、東京都文京区

「漫画で戦争の語り部に」と題して講演したちばさんは、「満州 (中国東北部) から引き揚げた体験を描いたイラストをプロジェクターで映しながら、当時の過酷な状況を振り返りました。「飢えと寒さで多くの人が死んだ。今でもテロや戦争で同じ思いをする人がいます。漫画で戦争の体験を描き、若い世代に伝えていきたい」と話し、「戦争はしないとみんなで声をあげていけたら」と呼びかけました。

志田さんは、「憲法が保障する平和と表現の自由とは」をテーマに講演。「あいちトリエンナーレ2019」の「表現の不自由展・その後」の展示中止に触れ、表現者の自由と同時に「知る権利」の侵害が問題だと指摘しました。また、戦時中の検閲の実態や、芸術作品に対して「解釈の自由」がなかったことを紹介し、異なる意見を排除せず議論を続けることの大切さを訴えました。最後に志田さんがミュージカル「レ・ミゼラブル」の劇中歌「夢やぶれて」を熱唱すると、会場は大きな拍手で包まれました。

志位氏、つれない？連合にラブコール 「協力強く願う」

朝日新聞デジタル 2019年9月15日 17時21分



志位和夫・共産党委員長



野党共闘を訴える共産党の志位和夫委員長は15日、同党との連携に否定的な連合に対し、「私たちとしては、協力していくことを強く願っている」とラブコールを送った。立憲民主党や国民民主党の最大の支持団体である連合と、共産は伝統的に距離があり、両者の連携実現を共闘のカギの一つとみるからだ。

党本部で開かれた党中央委員会総会の際、記者団に語った。志位氏の念頭にあったのは連合の神津里季生（りきお）会長の12日の発言。共産も含めた「野党連合政権」構想について、「基本的な目指す国家像が全く違う。立憲や国民と一つの政権を担うのは、理屈の上ではあり得ない」と否定的な考えを示したものであった。

志位氏は連合との関係について、労働問題を例に「当面の課題では一致する点がたくさんある」と指摘。「先々の問題は立場が違っても協力して選挙を戦っていきたい」と語った。

共産は総会で、来年1月14日に党大会を開くことを決定。綱領改定も議題になる予定だが、志位氏は「社会主義、共産主義（の社会を目指す）という大目標は、今の筋を引き続き堅持して頑張る」と述べた。

しんぶん赤旗 2019年9月16日(月)

「連合との協力 心から願っている」 志位委員長が会見

日本共産党の志位和夫委員長は15日、第7回中央委員会総会でのあいさつの後に、党本部で記者会見しました。記者団から連合の神津里季生会長が、野党連合政権構想にかかわって「共産党とは目指す国家像が異なる」と発言したことについて問われ、「連合のみなさんと協力していくことを強く願っています」と語りました。

志位氏は、連合とはこの間、「残業代ゼロ制度」、裁量労働制の拡大、労働者派遣法の改悪など労働法制の規制緩和の問題で協力してたたかい、全国各地でも連合と協力している場面があると指摘。「当面の問題では、連合のみなさんとも一致する点がたくさんあります。先々の問題では立場が違っても、協力してたたかっていききたい」と語りました。

その上で、「私自身の経験では、2001年、鷲尾会長、笹森事務局長の時代に、（宮城県の）蔵王で行われた連合の夏季セミナーに講師として招待され、講演と質疑を行い、連合の幹部のみなさんと、大変温かい交流をしたことを思い出します。お互いの立場を尊重しつつ、一致点での協力を心から願っています」と話しました。

党勢回復へ目標設定＝赤旗読者100万人割れ「危機的」－共産中央委総会

時事通信 2019年09月15日 14時54分



共産党第7回中央委員会総会であいさ

つする志位和夫委員長＝15日午前、東京都渋谷区

共産党は15日、第7回中央委員会総会を党本部で開き、第28回党大会の来年1月招集を決めた。志位和夫委員長は機関紙「しんぶん赤旗」読者の100万人割れなど党勢が後退する現状を報告。「率直に言って危機的だ」と語り、次回党大会までに前回大会時の党員30万人、赤旗読者113万人を「回復・突破」することを目標に掲げた。

党大会は2017年1月以来、20年1月14日から5日間行われ、党綱領の一部改定などを協議する。綱領改定は天皇制への柔軟姿勢を打ち出した04年以来となる。志位氏は記者団に「社会主義・共産主義という大目標は堅持する」と述べた。

志位氏は総会で、次期衆院選に向け、野党間の政権合意と共通政策の策定を目指すと表明し、達成度が「選挙協力の度合いを左右する」と述べた。共産は「野党連合政権」を提唱し、先の参院選で共闘した各党に協議を呼び掛けているが、連合の支援を受ける立憲民主、国民民主両党は慎重姿勢を崩していない。

総会報告によると、1980年前後のピーク時に50万人近かった党員は約28万人に減り、355万人の赤旗読者も100万人を割り込んだ。

共産「衆院選で野党連合政権を」 7中総で決議

日経新聞 2019/9/15 20:00

共産党は15日、党本部で第7回中央委員会総会（7中総）を開いた。次期衆院選に関して「自民、公明両党とその補完勢力を少数に追い込み、野党連合政権への道を開く」との決議を採択した。志位和夫委員長は野党各党との政権合意が重要だと強調したうえで「選挙協力の度合いを左右する」との認識を示した。

2020年1月14～18日に3年ぶりの党大会を開き、綱領について第3章「世界情勢」を中心に改定を議題とする方針を決めた。100万人を割っている党機関紙「赤旗」の読者数について、同年

1 月末までに前回大会時の 113 万人まで回復させる目標を掲げた。衆院選の比例代表では「850 万票、得票率 15%以上」をめざす。

「力強い政権構想、共闘発展に必要」 共産中央委総会、志位氏 東京新聞 2019 年 9 月 16 日 朝刊

共産党は十五日、第七回中央委員会総会を党本部で開いた。志位和夫委員長は次期衆院選に向け「力強い政権構想を打ち出すことが共闘発展に必要だ」と述べ、提唱する「野党連合政権」構想の取りまとめに重ねて意欲を示した。小選挙区での選挙協力は、構想への賛同度合いに応じて判断していく方針を打ち出した。

来年一月に開催する党大会で、二〇〇四年以来、十六年ぶりに綱領を改定する考えも表明した。

共産は、立憲民主党や国民民主党などに構想への協議を呼び掛けている。ただ、構想に否定的な連合の支援を受ける立民、国民両党は慎重な立場を崩していない。

志位氏は、選挙協力について「政権を共にする覚悟を決めて行うことが本来の在り方だ」と指摘。選挙協力は、野党間の政権合意や共通政策の策定と並行して協議する考えだ。

しんぶん赤旗 2019 年 9 月 16 日(月)

共闘の時代、党づくりでも「新しい時代」を開こう 「党大会成功めざす党勢拡大運動」よびかけ 共産党 7 中総が決議 志位委員長があいさつ

日本共産党は 15 日、第 7 回中央委員会総会を党本部で開き、来年 1 月の第 28 回党大会招集とともに、「第 28 回党大会成功めざす党勢拡大運動」を呼びかける 7 中総決議を全会一致で採択しました。「大運動」の目標は、党員拡大でも「しんぶん赤旗」読者拡大でも「前大会時の回復・突破」です。党勢の面で後退から前進に転換することで「共闘の時代」に党づくりでも新しい時代を切り開こうと決意を固めました。

志位和夫委員長が、(1)野党連合政権に向けたこの間のとりくみ(2)第 28 回党大会の招集と議題の提案(別項)(3)「大運動」の強調点の柱で幹部会を代表してあいさつしました。



(写真) 第 7 回中央委員会総会であいさつする志位和夫委員長＝15 日、党本部

このなかで志位氏は、8 月 8 日の党創立 97 周年記念講演で呼びかけた「野党連合政権にむけた話し合いの開始」について、5 野党・会派にこの問題での党首会談の開催を申し入れ、12 日には「れいわ新選組」の山本太郎代表との党首会談が実現したことを、会談での合意を含め報告しました。

そのうえで、野党連合政権にむけた協議では、(1)政権をとると

つくるという政治的合意(2)連合政権がとりくむ政策的合意、政権として不一致点にどう対応するか(3)総選挙での小選挙区における選挙協力—の 3 点を一体に話し合っていきたいと強調。「総選挙を市民と野党の共闘の勝利、日本共産党の躍進で、安倍政権と自民党政治を終わらせ、野党連合政権に道を開く選挙にしていこう」と呼びかけました。

「大運動」の目標について志位氏は、「端的にいえば『この大会期を、党勢の面でも後退から前進に転換する大会期にしよう』という目標だ」と指摘。この目標がこの間の党勢の歴史的推移にてらしてもきわめて重要な意義をもつ、「大志ある目標」であることを強調しました。

志位氏は、「党建設の現状を歴史的に見てみたい」として、長期にわたる後退傾向が続いてきたとして、主体的な活動と同時に、客観的条件の問題があったと指摘。その最大の要因が、1980 年の「社公合意」で「日本共産党を除く」という「壁」がつけられたことにあると述べました。日本共産党が 60 年代、70 年代に、「安保闘争」や全国に広がった革新自治体など、限定的とはいえ統一戦線の発展に力をつき、それと一体に党をつくってきたが、「社公合意」によってその流れが断ち切られた否定的影響は大きいものがあったと語りました。

しかし、「日本共産党を除く」という「壁」が崩壊する情勢の大きな変化が起こり、「新しい共闘の時代」が始まり、新しい友人、新しい絆が広がり、党と国民との関係も大きく変化していることを力説しました。

志位氏は、「党勢という面でも、世代的継承という面でも、現状は率直にいって危機的です。同時に、それを打開するかつてない歴史的可能性も存在する。危機と可能性の両方がある」とのべ、80 年の衆参ダブル選挙と、今年の参院選比例区を比較して、党勢は後退させたものの、得票率を伸ばしていることに言及。「歴史的可能性に最大限働きかけて、何とせよ党勢拡大で後退から前進に転じようではありませんか」と訴えました。

共産 志位委員長「力強い構想が野党共闘の発展に必要」 NHK2019 年 9 月 15 日 15 時 17 分



共産党が次の衆議院選挙に向けて取りまとめたいとしている「野党連合政権」構想について、志位委員長は「力強い構想を打ち出すことが野党共闘の発展のためにはどうしても必要だ」と述べ、改めて取りまとめに意欲を示しました。

共産党は、安倍政権に代わる「野党連合政権」構想を取りまとめたいとして、立憲民主党などに協議を呼びかけていて、先週、志位委員長がれいわ新選組の山本代表と会談し、構想の取りまとめを視野に、連携を進めることで一致しました。

志位委員長は党本部で開かれた党の中央委員会総会であいさつ

し、「力強い政権構想を打ち出すことが、今後の野党間の共闘の発展と飛躍のためにはどうしても必要だ。ほかの野党とも話し合いが進むことを期待している」と述べました。

そのうえで志位氏は「安倍政治の破綻は目を覆うばかりで、内政も外交も行き詰まりは深刻だ。話し合いを实らせて、きたるべき総選挙で『野党連合政権』への道を開くため、知恵と力を尽くす決意だ」と述べ、改めて構想の取りまとめに意欲を示しました。また総会では3年ぶりとなる党大会を、来年1月14日から18日までの日程で開くことになりました。

【点描・永田町】埼玉知事選 野党勝利の裏舞台

時事通信 2019年09月15日19時00分



埼玉県知事選で初当選を決め、支

援者からの花束を掲げる大野元裕氏(右)＝8月25日夜、さいたま市

16年ぶりの新人対決となった埼玉県知事選(8月25日投開票)での野党勝利が、その複雑な裏舞台も絡んで永田町に波紋を広げている。

当初は圧勝ムードだった与党推薦候補を、立憲民主など主要野党の支援候補が土壇場で逆転したことで、野党側は「今後の選挙共闘に弾みがついた」(立憲民主幹部)と勢いづき、与党は「陣営の緩みによる手痛い取りこぼし」(自民幹部)と肩を落とす。

ただ、水面下では与野党入り乱れての政治的駆け引きもあっただけに、知事選に続く「埼玉決戦」となる10月の参院補選への与野党の対応にも『歪み』が目立つ。

上田清司前知事(71)の退任表明で、参院選後初の与野党対決型の大型地方選となった同知事選は、自民、公明両党が推す元プロ野球選手でスポーツライターの青島健太氏(61)と、国民民主党を離党した前参院議員の大野元裕氏(55)の事実上の一騎打ちとなった。



埼玉県知事選で落選し、支持者らに

反省の弁を述べる青島健太氏＝8月25日夜、さいたま市

臨時国会での与野党攻防などもにらんで、双方が党役員・閣僚や党首を送り込む総力戦を展開したが、当初劣勢とみられていた大野氏が終盤に追い上げ、先行していた青島氏を逆転した。

これまで上田氏と対立、攻撃してきた自民党は、「県政奪還のチャンス」(埼玉県連)として知名度の高い青島氏の擁立を決め、党本部・県連一体での「必勝態勢」で勝負に出た。

これに対し大野氏は、「県政の継承」を掲げて上田氏の全面支援も受け、これを立憲など主要野党がサポートするという戦術で対抗。

選挙戦は組織を固める与党と、「県民党」をアピールして無党派層の取り込みを狙う野党の競り合いとなったが、投票率が前回より5.68ポイント上昇する中で、無党派層の高い支持を得た大野氏が、青島氏に5万7000票余りの差をつけて当選した。



記者会見で5選不出馬を表明する埼玉県の

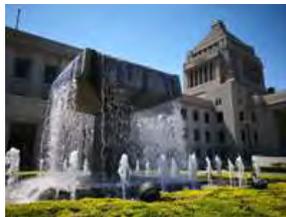
上田清司知事＝6月15日、さいたま市の同県庁

◇参院補選で自民に『不戦敗』論

この知事選とのワンセットとなるのが、10月27日投開票の参院埼玉補選だ。

参院選後初の国政選挙で、勝敗が10月4日召集予定の次期臨時国会に新体制で臨む安倍晋三首相の政局運営にも影響を与えるため、与野党双方の対応が注目されている。

すでに、県知事4期で退任した上田氏が出馬に意欲を示し、主要野党も知事選と同様の態勢で支援する構え。一方、与党側も「知事選と補選の連敗は恥」(自民埼玉県連)として有力な候補擁立を模索するなど、「知事選同様の与野党対決となるのが常識的な展開」(立憲民主幹部)とみられている。



東京・永田町にある国会議事堂＝5月

ところが、自民党内では「候補を出して負けるより、出さない方がダメージが少ない」(選対幹部)との『不戦敗』論も台頭している。今回知事選で、有権者が16年間の上田県政を評価したこともあり、「上田氏に勝てる候補がない」(同)というのが、表向きの理由だ。

しかし、その裏側には3年後の参院選の埼玉選挙区をめぐる「与党の事情」がある。

今回は定数4となる同選挙区だが、改選組には自民、公明の2人の現職がいる。もし、自民が複数候補で臨めば、4議席を自公3人の候補と立憲、国民、共産など野党各党の候補が奪い合うことになり、「与党内での足の引っ張り合いになる」(自民選対)とみられているからだ。

補選で上田氏が勝てば、大野氏の残り任期を引き継ぐため、3年後には改選となる。その場合、自民が2人目を立てなければ上田氏を含めた3現職は安泰で、残り1議席を共産や維新が争う構図が想定されている。

さらに、上田氏は憲法改正に前向きとされるため、自民内では

「上田氏に恩を売れば、国会での改憲論議に協力してくれる」(執行部)との声も出ており、当分は「県民不在の複雑怪奇な駆け引き」(選挙専門家)が続きそうだ【政治ジャーナリスト・泉 宏 / 「地方行政」9月9日号より】。

しんぶん赤旗 2019年9月14日(土)

県民第一 力合わせて 埼玉・大野知事と共産党懇談

日本共産党の荻原初男埼玉県委員長と柳下礼子、村岡正嗣、前原かづえ、秋山文和、秋山もえ、守屋裕子の各県議は13日、県庁内で大野元裕知事と懇談しました。



(写真) 大野知事(左から4人

目)と握手する荻原氏(その左)と県議団(左から5人目は柳下県議団長) =13日、埼玉県庁

荻原氏は冒頭、「知事選で日本共産党は自主支援という立場をとったが、その判断は正しかったと考えている。政策にも県民の願いが反映されていた」と激励。知事選中に大野氏が、「日本一暮らしやすい埼玉に」と訴えたことにふれ、「そのためにも共産党と県議団は県民の切実な願いを知事に伝え、力を合わせていきたい」と語りました。

柳下氏は、大野氏が知事選で医師不足の解消を掲げたことに言及し、「共産党も医師不足の解消を訴え続けたが、国は医学部の新設を認めない。国のいいなりにならず、県民本意の県政をつかってほしい」と求めました。

大野氏は、知事選は厳しかったかいたが県民の意思が示された選挙だったと強調し、「県民の声によりそう県民与党という立場で良い政治をつくりたい。県民の声が一番だと思っているので、それに従いながら、建設的な議論をさせていただきたい」と応じました。

村岡氏は、大野氏と日本共産党県議団との懇談を頻繁に行おうと提案しました。

前埼玉知事が参院補選出馬へ 上田清司氏、自民の対応が焦点

2019/9/13 21:11 (JST)共同通信社



上田清司前埼玉県知事

前埼玉県知事の上田清司氏(71)が参院埼玉選挙区補欠選挙(10月10日告示、同27日投開票)に無所属で出馬する意向を固めたことが13日、関係者への取材で分かった。事実上の与野党一騎打ちとなった8月の知事選で、上田氏は立憲民主党など4

野党の支援を得て初当選した大野元裕氏(55)を後押しし、自民、公明両党推薦の新人を下す立役者となった。自民が対立候補を立てるかどうか焦点となる。

立民など4野党は上田氏支援に回る可能性が高い。補選は大野氏の参院議員辞職に伴うもので、10月1日からの消費税増税直後の国政選挙としても注目される。

上田清司・前埼玉知事が参院補選出馬へ

毎日新聞 2019年9月13日 21時36分(最終更新 9月13日 21時41分)



上田清司氏=畠山高撮影

上田清司・前埼玉県知事(71)は13日、10月10日告示、27日投開票の参院埼玉選挙区補選(改選数1)に無所属で立候補する意向を固め、後援会関係者に伝えた。補選ではこれまで与党や主要野党で出馬の動きは表面化しておらず、各党の対応に影響を与えそうだ。

上田氏は13日夜、同県朝霞市内であった後援会の会合に出席。関係者によると、「出馬の準備をする。県政で取り組んだ改革を国政でも進める」などと国政に転身する考えを示したという。

上田氏は2003年の知事選から4期連続で当選し、18年4月からは全国知事会長を務めた。8月の知事選には立候補せず、任期満了で退任した。【畠山高、鷲頭彰子】

参議院埼玉選挙区の補欠選挙 上田清司氏が立候補の意向

NHK 2019年9月14日 0時18分

来月行われる参議院埼玉選挙区の補欠選挙に、先月まで埼玉県知事を4期16年務めた上田清司氏が無所属で立候補する意向を固めたことが、関係者への取材でわかりました。

これは13日夜、上田氏の後援会幹部が記者団の取材に応じ、明らかにしました。

それによりますと、上田氏は13日夜、埼玉県朝霞市で開かれた後援会の会合で「埼玉の県政でやった改革を国政でも進めたい。埼玉と国をつなぐ。関係者の皆様と相談しながら出馬の準備を進めていく」と述べ、来月行われる参議院埼玉選挙区の補欠選挙に無所属で立候補する意向を固めたことを伝えたということです。上田氏は福岡県出身の71歳。旧民主党などで衆議院議員を3期務めたあと、平成15年からは埼玉県知事を4期16年務め、先月の任期満了で退任していました。

上田氏は、先月行われ事実上の与野党対決となった埼玉県知事選挙で、立憲民主党や国民民主党など野党4党が支援し、初当選を果たした元参議院議員の大野元裕氏を全面的に支援したこともあり、今後は自民党など与党側の対応が注目されそうです。参議院埼玉選挙区の補欠選挙は、来月10日に告示され27日に投票が行われます。

「教員の働き方改革」へ 日教組 国と協議の運動方針採択

NHK9月15日 21時53分



日教組＝日本教職員組合は教員の働き方改革をめぐる文部科学省が導入を目指している1年間で勤務時間を調整する新たな制度の問題点について国と協議を行うことなどを盛り込んだ運動方針を採択しました。

日教組は都内で定期大会を開き、最終日の15日、今後2年間の運動方針を採択しました。

それによりますと、文部科学省が導入を目指している、1年間で勤務時間を調整する「変形労働時間制」と呼ばれる新たな制度や、残業時間の上限を月45時間とするガイドラインの問題点について国と協議を行うとしています。

また、働いた時間の長さに関係なく、教員の基本給の4%を「教職調整額」として上乗せすることを定めた法律の廃止や抜本的な見直しを求めていくことを盛り込んでいます。

そのうえで、現在は払われていない残業代について時間外勤務の手当てとして支払うよう求めていくとしています。

記者会見で、岡島真砂樹委員長は「1年間で勤務時間を調整する『変形労働時間制』の導入の論議の前に、まず業務の縮減や教員の定数を増やすといった具体的手当てを取る必要性を強く訴えていきたい。教員の働き方改革に向けて長時間労働は正の取り組みを進めることを最重要課題として取り組んでいく」と述べました。

しんぶん赤旗 2019年9月13日(金)

野党連合政権での協力合意 志位委員長、「れいわ」山本代表と会談



(写真) 党首会談する、れいわ

新選組の山本太郎代表(左)と志位和夫委員長＝12日、国会内

日本共産党の志位和夫委員長と「れいわ新選組」の山本太郎代表との党首会談が12日、国会内で行われました。日本共産党が野党連合政権に向けた話し合いを各党に呼び掛け、最初に実現した党首会談です。会談には、日本共産党の小池晃書記局長が同席。両党党首は会談後に共同記者会見し、台風15号の被災者へのお見舞いと政府・東京電力に一刻も早い復旧を求める立場を表明したうえで、3点で合意したことを明らかにしました。

第一は、両党が野党連合政権をつくるために協力することです。

志位氏は、3回の国政選挙で野党が共闘してきた到達の上に乗って、次の総選挙を野党が政権構想を示してたたかう選挙にして

いくために、両党が協力していくことを確認したとして、「たいへんに大事な合意となりました」と強調。その際、野党が市民連合と結んだ13項目の政策合意を土台にすることを確認したことを明らかにしました。

山本氏は「どのタイミングで解散が打たれてもいいように、私たちは有権者に政権交代をすればどのような世の中になるのかイメージしてもらい話し合いは一刻も早く進めるべきです」として「れいわ新選組がまず最初に、この連合政権の話し合いに参加させてもらいました」と強調しました。

第二は、安倍政権が進めようとしている9条改憲に反対することです。

志位氏は、安倍9条改憲・発議の阻止は市民連合と結んだ13項目の政策合意の中に入っているが、安倍晋三首相が内閣改造後の記者会見で改憲について「必ず成し遂げる決意だ」と明言しているとして、「今日の党首会談でも、安倍9条改憲には断固反対ということを確認しました」と述べました。

消費税廃止に向け道筋を協議

第三は、消費税の問題で、両党が、(1)消費税10%増税の中止を最後まで求めていく(2)消費税廃止を目標にする(3)消費税廃止に向かう道筋、財源について協議していく(4)消費税問題での野党共闘の発展のために努力する一ことの4点で協力することです。

志位氏は、10%増税の中止とともに、消費税廃止を目標にした意義を力説。「消費税廃止は日本共産党の一貫した主張ですが、この税を導入して30年、貧困と格差を拡大し、景気と経済を壊す悪税ぶりがいよいよ明瞭になってきました。そうしたもと消費税廃止を掲げる新たな政党が誕生したことを歓迎しています。消費税廃止の旗を高く掲げることを両党で確認しました」と述べるとともに、「消費税廃止への道筋、財源については、国民から歓迎され、政策として合理性・説得力のある内容を協議していくことで合意しました」と述べました。

山本氏は「私たちは選挙の時は廃止を訴えたが、野党全体として消費税10%増税の中止を求めることは全く矛盾しないと考えています。その中で、さらに消費税廃止を目指すために財源など数々の部分について協議を始めることは一刻も早くやった方がいい」と強調しました。

さらに、日本共産党と国会で連携していく意義について問われた山本氏は、参院選で当選した、れいわ新選組の重度障害者の舩後靖彦、木村英子両氏の国会活動について触れて、「お世話になったから、今回の会談をOKしたわけではありませんが、重度の障害をもつ2人の議員が誕生したんだから国会自体が変わっていかないといけないうことで、実際に一番、手を差し伸べてくれたのは共産党だといいたい」と述べました。

しんぶん赤旗 2019年9月14日(土)

志位委員長・山本代表の共同会見

日本共産党の志位和夫委員長と「れいわ新選組」の山本太郎代表との党首会談が12日国会内で行われました。両氏は会談後、共同記者会見を開き、記者の質問に答えました。その冒頭の発言

と、一問一答の要旨を紹介します。



(写真) 共同で記者会見し、握手するれいわ新

選組の山本太郎代表(左)と志位和夫委員長=12日、国会内冒頭発言 共産・志位和夫委員長 「野党連合政権にむけ大事な合意が確認できた」

ただいま、れいわ新選組の山本太郎代表と党首会談を開きました。

まず、私は、冒頭、台風15号で被災された国民のみなさんに心からのお見舞いを申し上げるとともに、政府と東京電力に一刻も早い復旧、住民の方々の命と健康を守るための万全の措置をとることを求めたいと思います。

今日の会談では、いくつかの大事な合意ができました。つぎの3点を、山本代表と合意しました。

第一は、野党連合政権をつくるために協力するという事です。私たちは、この間、3回の国政選挙で野党共闘をやってきたわけですが、その到達のうえにたつて、次の総選挙は、野党連合政権をつくる——政権構想を野党が示してたたかおうということと呼びかけさせていただいていますが、この点について両党が協力して政権をつかっていこうという合意ができました。たいへんに大事な合意だと思っています。そのさい、この間、野党(5野党・会派)は市民連合のみなさんと13項目の政策合意を結んでいます。これを土台にして(連合)政権をつかっていこうということを確認しました。

第二は、安倍政権が進めようとしている9条改憲に反対する。これは13項目の中に入っていますが、いま安倍首相が、内閣改造後の第一声で何が何でも9条改憲やるといっていますので、私たちも断固としてこれには反対ということを確認しました。

第三は、消費税の問題です。消費税については、以下の点で両党が協力することで合意しました。

その第一点は、消費税10%増税の中止を最後まで求めるということです。私たちはあきらめないで、最後の最後まで増税の中止を求めます。そのたたかいをやつてこそ次につながる。これは、最後まで頑張り抜こうということを確認しました。

第二点は、消費税廃止を目標にするということです。日本共産党は、30年前に消費税が導入されて以来、これまで消費税廃止を一貫して求めてきました。ただ、増税とのたたかいが繰り返されましたので、増税中止という一致点を大事にしてたたかいながら、廃止を求めるという立場でたたかってきました。

ただ、(導入から)30年たつて、この税金はいよいよ廃止しなければならない。とくに、貧困と格差を拡大する、景気と経済を壊す、そして結局、消費税は大企業減税、富裕層減税の穴埋めに使われた。これらの点からしても、いよいよ廃止の旗を高く掲げることが大事だと考えました。

そういうときに、れいわ新選組が、消費税廃止という旗を掲げて誕生した。私は、消費税廃止を掲げる政党が新たに誕生したことを心から歓迎しています。両党で、(消費税)廃止という大目標で合意ができたのはうれしいことです。

第三点は、(消費税)廃止に向かう道筋、財源について協議していくということです。廃止に向けた道筋はいくつかあります。一つは、税率を(一律に)下げていくという方法、もう一つは、食料品やライフライン(水光熱費)などの部分について消費税を廃止し、廃止の部分を広げていく。いろいろなやり方があります。そのいろいろな道筋、財源については、国民から歓迎され、政策として合理性と説得力のある内容を協議していこうと合意しました。

第四点は、消費税問題での野党共闘発展のために努力しようということを確認しました。野党共闘をすすめてきて、いま野党は、10%反対では一致してそれを求めています。その到達点を大事にしなが、両党だけでは政権をとるわけにはいかないので、野党みんなでもとまって政権を担い、消費税の問題も解決することを考えれば、消費税問題でも野党共闘の発展のために努力していこうという一致点を確認しました。

とてもいい党首会談になったと思っています。

れいわ・山本太郎代表 「このような話し合いは一刻も早く進めるべき」

れいわ新選組の山本太郎です。私からも、台風15号で災害に遭われたみなさま、そして自治体、復旧に向けて活動されるみなさまに対して、一刻も早く政府が大きな力を投入していただけるようお願いを申し上げたいと思います。

今回、共産党さんの方から、このような連合政権に向けての話し合い、それをまず(野党各党と)順番にしていきたいんだというご提案を受けまして、それでは私たちはさっそくお話を伺いますということで、このような会を持っていただきました。

はっきり言って選挙いつあるか分かりません。ひょっとしたら年内に解散するかもしれません。すべての判断は官邸側にあるわけですから、残念ながら。でも、どのタイミングで解散が打たれてもいいように、私たちは有権者のみなさん、この国に生きる人々に、政権交代をすればどのような世の中になるのかということイメージしてもらうためにも、こういった話し合いは一刻も早く進めるべきだという考えです。そういう意味で、一番小回りがきくといいますが、れいわ新選組がまず最初に、この連合政権、その話し合いというところに参加をさせていただいたということです。

そのなかでも消費税、非常に大きな部分です。確実に消費税をあげるたびにこの国は壊れてきた。少なくとも、この国に生きる人々の生活は壊されてきたという状況があります。みなさんもご存じの通り、97年に5%に上がったさい、その翌年からは本格的なデフレ、このさいには世界の通貨危機に伴って本当に多くの方々々が傷つけられた。実際に命を落とされた、自ら命を絶ったという人もおられるぐらいです。もちろん2014年に8%に上がったさいにも個人消費というのはリーマン・ショックの時よりも上回る減り具合、大打撃ですね。その際にはアメリカ経済、中国

経済という後ろ盾があったという部分もあると思います。しかし、今回はそのような後ろ盾がないまま10%に突き進むというのは、はっきり言って国の自殺行為だと、そのように思います。

私たちは選挙のときは当然廃止を訴えてまいりましたが、野党全体として10%の中止を求めるということに関しては、全くこれは矛盾しないことだと考えております。その中で、さらに消費税廃止を目指したうえで、どういうふうに減税していけるかということ、財源の部分であるとか、数々の部分に関して協議を始めるということに関しては、一刻も早くやった方がいいだろうと。それに対して、このような機会を設けていただいた共産党さんには、本当にお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。

記者団との一問一答から 消費税5%への引き下げ

『10%中止』を前提に具体的な話し合いを」(山本氏)



(写真) 記者会見する(左から)

れいわ新選組の山本太郎代表と志位和夫委員長、小池晃書記局長＝12日、国会内

——山本代表は、これまで野党共闘の条件に消費税5%(への引き下げ)をあげていました。その考え方は変わったのでしょうか。

山本 この先、衆院選挙になった場合に、私たちが野党と一緒にたたかえるかどうかに関して、消費税5%という提案というか、線引きをしたことがあります。それは変わりません。

ただ、それは私たちだけで言っても話し合いは前に進まないで、具体的に、まずは10%中止は当然という前提に立った上で、5%に下げるときの具体的・合理的な話し合いをまず進めることに対して、私は賛成する立場です。

野党の共通政策 「消費税問題では合意した4点で最大限努力したい」(志位氏)

——志位委員長が参院選後に政権・政策協議を各党に呼びかけ、今回、党首として初めて山本代表が応じました。(5野党・党派と市民連合が合意した) 共通政策が13項目ありますが、そのうち旗が二つで消費税と9条改憲(反対)だと。この大きなところで、これからお二人で各党にもう一回政権・政策協議を呼びかけていくという理解で良いでしょうか。

志位 13項目というのはかなり包括的です。たとえば沖縄の辺野古の問題や原発の問題も入っています。山本代表とは、13項目は当然合意できる内容だと確認しました。野党全体の政権構想の協議の土台になるのは、やはり13項目だと考えております。

そのうえで、消費税についてどうするかというのは、野党としても共通の方策をもつ必要があるだろうと思います。

10%への増税が迫っています。これについては、最後まで10%への増税を許さないために野党は頑張る。これは野党の参院選公約ですから当然です。さらにその先の展望をどういうふうに

描いていくのが野党に問われてくると思います。今日、私たちとしては、消費税問題で4点の大事な合意ができたので、私たちとしては最大限、そういう方向に近づくように努力するということです。

現時点で、野党連合政権の話し合いが始まったのは「れいわ」さんとの関係だけです。お声かけさせていただいた他の野党とは、おそらく順次進むだろうと思っております。その時に、まず13項目(を土台)で政権をつくらうという政治的合意が得られるかどうか。得られたとしたら政策をどうするかということになると思います。その時に消費税の問題は、私たちとしてはこういう主張をしていくと(いうことです)。「れいわ」さんも、その時にはそういう主張を一緒にするというに多分なるのだらうと思っています。

衆院選での選挙協力 「政権合意、政策合意と一体に話し合いを進めたい」(志位氏)

「野党は力をあわせ話し合いを始めなければ」(山本氏)

——小選挙区での候補者調整など、衆院選の選挙協力については今日は話をしたのでしょうか。

志位 今日はそこまで話をしておりません。ただ、私たちの考えとしては、野党連合政権をつくらうと言った場合は、政権をとにもするという(政治的)合意が必要だろうと(思います)。それから、その政権が何を実行するか、政策の合意が必要だろうと(思います)。そのさいに、政策の不一致点について政権としてどう対応するかも含めて政策合意が必要になります。そして、三つ目に、選挙協力の合意が必要になってくるでしょう。

連合政権の(政治的)合意、その政権が取り組む政策の合意、それと一体に選挙協力の話し合いも進めていければというのが私たちの考え方で。

——今日は話していないけれども、選挙協力についても今後話していこうというのにも合意に含まれるという理解でいいでしょうか。

志位 私は当然だと思います。

山本 はい。当然だと思います。選挙区の調整ということで、これまでの選挙協力は終わってきたわけです。でもそれだけでは、やっぱりひっくり返せないですから。有権者のみなさん、この国に生きる人々に対して、野党が力を合わせて政権交代した場合にはこういう未来が見られるよということを、もう話し始めなければいけないということです。

志位 今まさに山本さんが言った通りだと思います。

これまで3回、国政選挙で選挙協力やってきました。しかし、政権の合意がありませんでした。野党共闘は成果をあげてきたけれども、さらにステップアップしようと思ったら、こういう内容で政権をつくりますよと、これが伝わってこそ、本当の野党共闘の力を発揮することができます。そう考えて野党連合政権構想の話し合いの開始を呼びかけさせていただきましたが、今日は「れいわ」という合意が得られたことを本当に喜んでおります。私は画期的な一歩だと考えております。

9条改憲 「安倍首相が進めている9条改憲に反対で一致」(志位氏)

「ブレーキをかけなければ、で完全に一致」(山本氏)

——9条改憲反対を重視することで一致したということですが、これは自民党の9条改憲案に反対ということですか。それともたとえば武力行使に制約を設けるというような、ちまたで言われる「立憲的改憲」も含めて一字たりとも変えないという趣旨で合意したのですか。

志位 私と山本さんの理解はそれぞれだと思います。ただ、いま安倍首相が言っている9条改憲に反対する。これは一致ではないか。共産党はそもそも9条改憲は必要がないし、反対だという立場ですが、(合意内容では)「安倍政権が進めようとしている9条改憲に反対する」としております。このやり方は反対だと。今日の合意はそういう内容だと思います。

山本 いま志位委員長が言われた通りの話ですけれども、逆に、私たちの立場としては一言一句変えてはならないという立場ではないです。

たとえば2015年の安保法の時に、あれはもう完全に憲法を無視した形で立法されました。手続き上は、憲法を変えなければならないはずがないのに、それを飛び越えてしまった。このような詐欺的行為によってこの国がゆがめられていくということを考えるならば、先々その歯止めという部分を憲法で何かしら考える必要があるかもしれないという考え方は持っています。

でもこの「安倍政権の改憲」に関しては、それはブレーキをかけなければならないという部分に関しては完全に一致です。

志位 いま山本さんの言われた点は、野党のなかにもいろんな意見があると思います。そこはそれぞれの意見があっても、今やられている「安倍改憲はだめだ」というところで結束することが大事だと思います。

「れいわ」の衆院選候補擁立 「野党が手をくみ政権交代を一刻も早く進めることを先に」(山本氏)

——山本代表は、以前、次期衆院選では100人擁立する考えを示していましたが、共産党と連携する場合は100人擁立できない場合もあるかと思うのですが。

山本 100人擁立することになるかならないかは、究極は何かと言うと、単独でたたかうのか、たたかわないのかということになるのです。

単独でやるのなら100人は立てなきゃならないねという話ですが、少なくともこの連合政権という構想の下に各党がテーブルに着き、話し合いを進めていく、深めていくことが前提となるならば、これは恐らく、ここは私たちはお譲りしますとか、ここを譲っていただけませんかというような話し合いをもとに、じゃあその先どういう世の中をつくっていくのかということまで行き着くと思います。

なので、単独でやることになったら、100人立てなければならぬ状況になる可能性はある。ただし、そこまでやってしまうと、これは政権交代からやはり遠のいてしまう可能性がありますから、やっぱり今考えるべきは、野党側が手を組んで政権交代を一刻も早く進めるということを先に持ってくるのが、私は順序として正しいのではないかと。だから今回、この連合政権というお話をいただいたときに、ぜひテーブルに着かせてくださいとい

うことになりました。

「野党連合政権」の名称 「各党の相談で決まっていければいい」(志位氏)

「次は私たちの番だ、と押し出されるようなものを」(山本氏)

——野党連合政権という名称を使っていると、万年野党というか、国民に本気度が伝わらないのでは。もっと国民に伝わるキャッチコピーを付けるとしたらどういふものがあるか。

志位 私たちは議席数からいきましたら野党第3党ですから、その立場でこういう呼びかけをさせていただいているので、あまり固有名詞的な名前は言わないで、「野党連合政権」と普通名詞的な名前を使っているんです。以前は「国民連合政府」と言ったことがあったのですが、やはりそうしますと「共産党の提案だね」ということになります。そういうことでなくて「みんなで作る政権だ」と。だから特定の名前をつけないということで、普通名詞でやっております。

山本 いま言われてハッとしたという部分ですね。ありがとうございます。シンプルに「次の構想政権」とかでも良いかもしれないし、「次の政権プロジェクト」とか、次は私たちの番だということが前に押し出されるような。それもまた、各党が集まってきたところでいろいろ話をしていければと。

志位 (それが)いいんじゃないですかね。ですからそれも含めて、ネーミングは、一応、普通名詞をあてているのですが、それを固有名詞にしていくのは相談で決まっていければいいのではないのでしょうか。

共産党と組むことについて 「船後、木村両議員の誕生。一番手を差し伸べてくださったのは共産党さん」(山本氏)

——「れいわ」の船後さん、木村さんの活動というのは非常にハンディキャップがあるわけですね。これからの活動の中で共産党のノウハウなども取り入れて形のあるものにしたいなど、共産党と組むことの意味などをもう少し聞かせてください。みなさんよりも大きい政党がぐだぐだして、最も小さなところからいくというのは逆だと思うんですけど、こういった状況に関する危機感というものがありますか。

山本 先の選挙(参院選)が終わった後、船後靖彦、木村英子という議員が誕生し、そのさいにはまだ初登壇も終わっていませんから、議員の部屋もなかったんです。それでたとえば、森ゆう子さんに議員会館の部屋を押さえてもらったりしながら、いろいろ動いていたりしたのですが、そのなかではっきり言って一番手を差し伸べてくれたのは誰かという、共産党さんなんですよ。

たとえば、議院運営委員会に委員ももっていますし、必要なことがあれば議運委員としても言えるからということで、省庁のレクチャーをセッティングしていただいたり。根強い人気がある理由が分かりました。助けられる側になって。国会内外でもですけど。

でも、そこでお世話になったからといって、今回この会談をオーケーしたということではないです(笑い)。そこは全く関係ない話ですが、“重度障害のある議員が2人誕生したんだから、国会自体が変わっていかないとだめだよ”ということで、実際に一番手を差し伸べてくださったのは、共産党さんであるというこ

とを私は言いたいです。

野党連合政権の呼びかけ 「野党共闘の成果を踏まえ、バージョンアップがどうしても必要と考えた」（志位氏）

——みなさんよりも大きな政党が組めないという問題への危機感があってこういった会談ができたのかをおうかがいしたいです。

志位 いえ、危機感というよりも、私たちの呼びかけの動機は、16年参院選、17年総選挙、19年参院選と、3回の国政選挙を野党共闘でたたかいました。この成果は上がったと思っています。今年の選挙でも、10の1人区で勝ちました。成果はたしかに上がりました。しかし、ここで（野党共闘を）バージョンアップしなければならないという思いなんです。

つまり、「本気で野党が政権とるぞ」ということが国民に伝わらないと、政権に批判を持っていても棄権を選んでしまう場合もあるでしょう。やはり私たちの本気度が伝わるところにバージョンアップしなければならないという気持ちを強く持っています。

それをやるには政権合意をしなくてはなりません。「こういう政権をつくります、本気でやります」、「だから力を貸してください、一緒にやりましょう」という呼びかけが今どうしても必要だろうという思いで、呼びかけています。

たぶん、立憲民主党にしても、国民民主党にしても、同じ問題意識を持っている方はおられると思います。これまで、一緒に力を合わせてやってきたわけですから、今後もさらに力を合わせて、協力をしていきたいという思いです。

消費税5%への引き下げ 「一つの選択肢。廃止への道筋、財源を協議していこうということが確認事項」（志位氏）

——山本代表は他の野党との共闘の最低条件として、消費税5%への引き下げと言っていますが、共産党としてはこれまで具体的な数字は示してきていないけれど、消費税5%が野党共闘の最低条件という認識でよろしいですか。

志位 他の野党との関係（で最低条件）というよりも、両党として、（消費税）廃止の目標を確認したということです。そこにいたる道筋、財源にかんしても協議していこうということも確認しました。その道筋については、税率を下げる方法もあるでしょうし、税率ゼロの部分をつくり広げていくということもあるでしょうし、いろんなやり方を検討してみよう、協議していこうということが今日の確認事項です。

私たちとして、消費税5%への減税は一つの選択肢だと思っています。それも含めて協議していきたいという考えです。

自民改憲本部長に「野党と関係作れる方を」 公明が言及
朝日新聞デジタル 2019年9月12日 19時01分



公明党の北側一雄副代表

公明党の北側一雄副代表は12日の記者会見で、安倍晋三首相（自民党総裁）が人選を進める自民党憲法改正推進本部長について「野党との人間関係も含めて、環境作りをできる方がいいと期待している」と述べた。

首相は昨秋の党人事で野党に対して強硬路線をとる布陣を敷いたが、本部長に起用した側近の下村博文氏が国会の憲法審査会開催に消極的な野党を「職場放棄」と批判。野党側の反発を招き、議論の硬直化を招く一因となった経緯がある。

北側氏は会見で「他党の人事でコメントする立場にはない」とした上で、「憲法審を開催し、議論を進めていくことが大事。そのためには野党の協力が不可欠」と強調した。

議論促進へ保守色薄める＝自民の改憲新布陣固まる

時事通信 2019年09月13日 19時47分

憲法改正に関わる自民党の布陣が13日、固まった。安倍晋三総裁（首相）直属の党憲法改正推進本部長に細田博之元幹事長の再登板が内定したのに続き、衆院憲法審査会長に佐藤勉元総務相、推進本部事務総長に根本匠前厚生労働相を起用。これまでより保守色を薄めた顔触れとなった。首相としては、宿願の改憲の実現に向けて野党の軟化を促し、議論を進めたい考えだ。

改憲本部長に細田氏復帰へ＝重鎮配置で議論促進狙う－自民

時事通信 2019年09月12日 19時08分

自民党は12日、憲法改正推進本部長に細田博之前本部長を復帰させる方針を固めた。安倍晋三首相が宿願とする改憲実現へ、カギを握るポストに重鎮を配置して議論促進を狙う。

首相は12日、細田氏と首相官邸で会談。本部長就任を要請したとみられる。

細田氏は、首相の出身派閥の細田派会長。官房長官や幹事長、国対委員長など要職を歴任した。前の本部長時代に、憲法9条への自衛隊明記など4項目について、石破茂元幹事長らの反対を抑え、首相の意向に沿って素案をまとめた。

自民改憲本部長に細田博之氏 衆院憲法審査会長は佐藤勉氏へ

2019/9/12 21:07 (JST)共同通信社

安倍晋三首相は12日、自民党の憲法改正推進本部長に細田博之元幹事長を起用する方針を固めた。昨年10月まで本部長を務めており、再登板となる。自民党は内閣改造・党役員人事に合わせ、衆院憲法審査会長に佐藤勉元国対委員長を充てる方向で検討に入った。複数の関係者が12日、明らかにした。

首相は12日に細田氏と官邸で会談した。本部長就任を打診したとみられる。細田氏は衆院当選10回。本部長として昨年、憲法9条への自衛隊明記など党改憲案4項目を取りまとめた。

佐藤氏は衆院議院運営委員長も経験し「野党との交渉経験が豊富だ」（自民国対筋）として起用案が浮上した。

自民「改憲シフト」 推進本部事務局長に石破派の前法相を起用する理由は

毎日新聞 2019年9月13日 19時40分(最終更新 9月13日 19

時 42分)



自民党本部=東京都千代田区で、曾根田

和久撮影

安倍晋三首相（自民党総裁）は13日、党憲法改正推進本部の事務局長に山下貴司前法相（54）＝石破派＝を起用する方針を固めた。衆院憲法審査会で野党との折衝役を担ってきた新藤義孝・与党筆頭幹事（61）＝竹下派＝は留任させる。同本部長には細田博之元官房長官（75）＝細田派、同本部事務総長には根本匠前厚労相（68）＝岸田派＝の再登板が決まっており、首相が憲法改正に臨む「改憲シフト」が固まった。

山下氏は東京地検特捜部検事などを経て、2012年衆院選で初当選し現在3期目。専門的知識と豊富な実務…残り 288 文字（全文 532 文字）

自民、改憲へ国会対策重視 調整力に期待の布陣

2019/9/14 1:00 日本経済新聞 電子版



首相官邸に入る安倍首相（13日午前）

安倍晋三首相（自民党総裁）は悲願の憲法改正に向け、衆院憲法審査会長に佐藤勉氏、党憲法改正推進本部長に細田博之氏という布陣で臨む。とりわけ佐藤氏は国会対策のポストが長いベテランで、野党側とも一定の信頼関係を築いてきた。党幹事長や政調会長らも含め、党を挙げた体制を敷き、国会で改憲論議を前進させたい考えだ。

佐藤氏は国対畑を歩んできた。国会対策委員長だった2015年には集団的自衛権の限定行使を認める安全保障関連法も成立した。自民党で国対委員長を約3年間務めた議員は、佐藤氏を除くと過去では大島理森衆院議長と、引退した中川秀直元官房長官に限られる。現在の森山裕氏は3年目に入って間もない。

第2次安倍政権発足後の自民党憲法改正推進本部長と衆院憲法審査会長	
自民党憲法改正推進本部長	衆院憲法審査会長
 保利耕輔 就任時期：2009年12月 14年1月	 保利耕輔 2012年12月
 森英介 13年10月 保岡興治 18年5月	 保岡興治 14年12月
 細田博之 17年11月	 森英介 18年9月
 下村博文 18年10月 細田博之 19年9月(予定)	 佐藤勉 13年10月(予定)

予算委員会など国会の委員会は与野党の主張が折り合わない場合、しばしば委員長職権で開催を決める。しかし、憲法審は与野党の合意のもと開くのが前提とされてきた。与野党の合意形成が改憲論議を進めるうえでハードルになっており、国対経験が豊富な人材の起用で打開を狙う。

党改憲推進本部長に就く細田氏は2回目の登板だ。前回、本部長を務めていた18年3月には憲法9条への自衛隊明記など計4項目の改憲案をとりまとめた。細田氏は最大派閥の会長でもあり、調整力に期待する。細田氏が本部長だったときの事務総長である根本匠氏も再登板する。

事務局長には山下貴司氏が就く。山下氏が所属する石破派の会長、石破茂氏は自衛隊明記について「9条2項との整合性をどうとるのかに答えを出さないまま、改正することに納得していない」としている。

首相が18年10月の内閣改造・党役員人事でつくった改憲シフトの布陣はうまく機能しなかった。党改憲推進本部長に選んだのは首相と親しい保守派の下村博文氏だった。しかし、下村氏は議論に応じない野党を就任早々「職場放棄」と批判し、野党の反発を招いてしまった。

下村氏が就くまでは党改憲推進本部長や憲法審査会長は専ら「憲法族」と呼ばれる議員のポストとなっていた。船田元氏や、弁護士だった故保岡興治氏らが中心で、野党側と協調して憲法論議を主導した。佐藤氏も細田氏も憲法族ではない。

今回の人事で、首相は野党と話し合い、国会を動かす布陣を目指した。これまでは改憲論議にあまり関わってこなかった幹事長や政調会長も含め、党全体で改憲論議を推進する。二階俊博幹事長は11日の役員会後の記者会見で「総裁の意向に沿って、党を挙げて改憲に努力を重ねたい」と述べ、岸田文雄政調会長も「改憲が進む流れをつくっていかないといけない」と語った。

10月からの臨時国会で課題になるのが、18年の通常国会から継続審議になっている国民投票法改正案だ。期日前投票の弾力運用を可能にするなど国民投票の実施環境を国政選挙にあわせる内容だ。憲法審査会で審議しており、そのめどがつかなければ改憲論議そのものを進めにくい。

立憲民主党などは国民投票法改正案に盛り込まれていないテレビCMなどの規制を設けるよう主張する。首相は国対経験者を前面に野党と調整を進め、まず改正案を成立させ、その後の改憲論議への道を開こうとしている。

自民「改憲シフト」根本前厚労相、山下前法相ら起用

産経新聞 2019.9.13 14:21

自民党の憲法改正に臨む態勢が13日、固まった。憲法改正推進本部長に細田博之元幹事長、事務総長に根本匠前厚生労働相、事務局長に山下貴司前法相をそれぞれ充てる。改憲議論の舞台となる衆院憲法審査会の会長には佐藤勉元国対委員長を起用し、与党筆頭幹事は新藤義孝元総務相が留任する。

細田、根本両氏は再登板で、昨年3月には自衛隊明記など4項目の党改憲案をまとめた。細田氏は首相の出身派閥の細田派（清和政策研究会）会長で、憲法にも精通するベテラン。実務能力に

定評のある根本、山下両氏がサポートする。

佐藤氏は国会対策の経験が豊富で、野党幹部と太いパイプを築いている。首相に近い新藤氏は、先の国会で粘り強く野党側と交渉を重ねたことが評価され、留任となった。ともに与野党調整の手腕に期待がかかる。

細田憲法改正推進本部長の起用 強硬イメージ払拭で野党に議論促す狙い

産経新聞 2019.9.12 20:19

安倍晋三首相（自民党総裁）が細田博之元幹事長を党憲法改正推進本部長に、佐藤勉元国会対策委員長を衆院憲法審査会長にそれぞれ起用したのは、改憲に対する安倍政権の強硬なイメージを和らげ、野党に議論への参加を促す狙いがある。

首相は12日、細田氏と下村博文選対委員長、稲田朋美幹事長代行と官邸で面会し、憲法改正を進めるための人事を話し合った。

首相は11日の党役員会で、「長年の悲願である憲法改正を党一丸となって進めたい」と明言。秋の臨時国会で国民投票法改正案を成立させ、憲法9条への自衛隊明記など4項目の党改憲案を提示したい考えだ。

ただ、野党第一党の立憲民主党などは安倍政権下での改憲議論に応じない姿勢を貫く。昨年の臨時国会では、首相側近で憲法改正推進本部長を務めていた下村氏の発言が反発を呼び、国会審議の日程に影響が出る場面もあった。野党を議論のテーブルに着かせるには、改憲に臨む布陣の見直しが不可避となっていた。

細田氏が憲法改正推進本部長に就くのは2回目、昨年3月には4項目の党改憲案を取りまとめた。自民党関係者は「首相に特別近いわけではなく、バランスを重視するタイプなので、野党の警戒感も和らぐのでは」と期待を寄せる。

細田氏は「憲法改正は簡単な話ではない」として就任に難色を示したとされるが、党内に適任者が見当たらないこともあり、最後は首相の意向を受け入れた。

国会議論の場となる衆院憲法審査会長に起用する佐藤氏は、野党との調整を担う国会対策のベテランだ。野党との太いパイプを持ち、水面下で“落としどころ”を探る技術は自民党内でも屈指とされる。

首相は、憲法審の開会すら嫌がる野党を解きほぐし、議論を少しでも前に進めることを期待している。（石鍋圭）

しんぶん赤旗 2019年9月12日(木)

首相「党一丸で改憲」 改造内閣 12閣僚が日本会議議連幹部

安倍晋三首相（自民党総裁）は11日、自民党役員人事とともに内閣改造を行い、第4次安倍再改造内閣を発足させました。新閣僚には改憲・右翼団体「日本会議」と一心同体の「日本会議国会議員懇談会」（日本会議議連）の幹部らを多数起用。安倍首相は「わが党の長年の悲願である憲法改正を、党一丸となって強くすすめていきたい」（同日の党役員会）と号令をかけました。悲願の改憲発議を目指して首相の側近を多数配置した内閣改造、党人事です。

安倍首相は内閣改造後の記者会見でも、「令和の時代の新しい

日本を切り開いていく。その先にあるのは自民党立党以来の悲願である憲法改正への挑戦だ。困難でも必ずや成し遂げていく」と発言。衆参の憲法審査会で「自衛隊明記」の9条改憲案を含めた改憲論議を開始する考えを強調しました。

第4次安倍再改造内閣は、安倍首相を含め閣僚20人中12人を日本会議議連の幹部で固めました。

安倍首相と麻生太郎財務相は同議連特別顧問。衛藤晟一沖縄北方相は同議連幹事長で、「日本会議」結成前からの筋金入りの改憲・「靖国」派です。萩生田光一文科相は同議連政策審議副会長で、安倍首相の側近中の側近といわれます。「ワイルドな改憲」発言で憲法審の強行開催や、改憲発議に向けた衆院議長への首のすげ替えなど、首相の意を受け危険な発信を続けてきました。

党人事では、二階俊博幹事長、岸田文雄政調会長を留任させ、改憲への挑戦の中で党内の「安定」化を図る狙い。議連副会長の下村博文前改憲推進本部長は選対委員長に就任。参院幹事長には世耕弘成前経産相が就き、官邸直結で参院の引き締めを図り、改憲論議への野党の取り込みを狙います。

最悪の状態にある日韓関係のもと、日本会議議連は、過去の植民地支配と侵略戦争を美化する主張を続けています。衛藤氏と北村誠吾地方創生相、高市早苗総務相は安倍首相と共に、12年11月に日本軍「慰安婦」は性奴隷でなかったなどとする意見広告を米紙に出しました。再改造内閣は、韓国とのさらなる関係悪化に加え、世界とのあつれきを深めるものです。

しんぶん赤旗 2019年9月12日(木)

一糸乱れぬ右向き・改憲シフト 小池書記局長が指摘

日本共産党の小池晃書記局長は11日、東京都渋谷区の党本部での記者会見で、第4次安倍晋三再改造内閣の顔ぶれについて感想を問われ、「一糸乱れぬ右向きメンバー、安倍首相の“お友だち”ばかりの改憲シフト内閣だ」と指摘し、「論戦で真正面から対決し、一刻も早く退陣に追い込みたい」と述べました。



(写真) 記者会見する小池晃書記局長＝11

日、党本部

小池氏は、内閣改造に際して安倍首相が掲げた「安定と挑戦」についても問われ、「安倍首相にモノを言う人がいない、首相にとっての『安定』と、改憲勢力3分の2割れという参院選で示された民意に反し、真正面から改憲を迫る意味の『挑戦』だ」と強調しました。

さらに、内閣改造と同時に行われた自民党役員人事で留任した二階俊博幹事長が、同日の会見で憲法改定をめぐる「党を挙げて努力を重ねたい」と述べたことについての質問には、「参院選で示された民意は、『期限ありきの性急な改憲には賛成できない』

ということだ。民意を無視した発言だ」と批判しました。

しんぶん赤旗 2019年9月12日(木)

改憲へ「最強」の体制 安倍首相の狙い

「思う存分、自分のやりたいことをやる体制。おそらく安倍政治の総決算を目指す」「最後に、一緒に憲法改正をやろうという、オールスターの体制だ」

日本会議国会議員懇談会関係者の一人は11日の内閣改造・自民党役員人事を見てこう述べます。

安倍晋三首相は11日朝の党役員会の冒頭、「わが党の長年の悲願である憲法改正を党一丸となって力強く進めていきたい」と発言し、まっすぐに改憲に切り込む姿勢をアピール。二階俊博幹事長も新4役の会見で「党を挙げて憲法改正に向けての努力を重ねたい」と述べました。

異質な人事

他方で日本会議議連関係者は、「今までの改造とも確かに異質な人事」と指摘。日本会議議連の幹部、中枢メンバーを内閣と党役員、国会の憲法審査会の要職にズバリと配置し、「お友達内閣」と言われることも顧みない体制に、異様な雰囲気かじむことを否定しません。「安倍首相が考える『最強の布陣』なのだろう。側近の多用は、安定というより挑戦の意思のあらわれ（同関係者）と語ります。

第2次安倍内閣発足以来、7年近く寄り添ってきた衛藤晟一首相補佐官が初入閣。同氏は日本会議議連の中枢にいる人物です。

また、同議連元事務局長の萩生田光一幹事長代行を文科相に起用。加藤勝信元厚労相を同ポストで再任し、河井克行首相秘書官を法相に抜てき。西村康稔官房副長官を経済再生担当相に起用するなど、若手側近を積極起用しました。

前出の関係者は『「今までよく支えてくれた」という意味や、次世代のリーダーを競わせ、力を発揮させる意味もある」と解説します。

安倍首相は11日夕方の改造を受けての会見で、「憲法改正を必ずやり遂げる」と再び明言。並々ならぬ決意をあらわにしました。

無反省体質

他方、新体制は国民愚弄（ぐろう）の無反省体質をより強く示すものとなっています。

首相の「腹心の友」が経営する学校法人に獣医学部新設（愛媛県今治市）を特例的に認めた加計学園問題で、文科省に強い圧力をかけた疑惑がもたれる萩生田氏を文科相に起用。また「政治的中立」を欠く内容に対する停波発言で報道・表現の自由の侵害を批判された高市早苗元総務相を同ポストに再任。また裁量労働制の拡大をめぐるデータねつ造問題で批判を浴びた加藤氏を同ポストに再任など、国民の厳しい批判をあざ笑うかのような人事に、批判が強まるのは必至です。

国民の求めない改憲推進と、国民の批判を省みない無反省体制は、国民との矛盾とあつれきを一気に拡大させかねません。市民と野党の共闘が迎え撃ちます。（中祖寅一）

しんぶん赤旗 2019年9月14日(土)

自民改憲本部長に細田氏 衆院憲法審査会長に佐藤元国対委員長

自民党は内閣改造・党役員人事を踏まえ12日、党憲法改正推進本部長に細田博之前本部長を復帰させる方針を固めました。安倍首相は同日、首相官邸で細田氏と会談しており、本部長就任を要請したとみられます。

また同党は、衆院憲法審査会会長に佐藤勉・元国会対策委員長をあてる人事を検討しています。

佐藤氏は、「野党にもパイプがある」などとされ、憲法審査会での国民投票法改定案の審議と改憲論議の開始に向け、野党分断・取り込みの手法発揮が期待されての起用です。しかし佐藤氏は、2015年の安保法制＝戦争法を強行した当時の自民党国対委員長です。当時の一部野党（次世代の党など）との同法案部分「修正」を演出する一方、首相官邸と直結で強行審議を重ね、最後は数の力で問答無用に押し切る運営を指揮した張本人です。

細田氏は昨年、自民党の改憲4項目・条文イメージたたき台素案（(1)9条への自衛隊明記(2)緊急事態条項(3)教育無償化(4)参院合区解消）のとりまとめを進めました。9条改憲をめぐって、安倍首相が提唱した「9条1、2項を残して自衛隊を明記する」案と、9条2項削除を主張する石破茂元幹事長らの案とで党内の意見が割れていましたが、安倍首相案でとりまとめを推進しました。

安倍首相は昨年9月の役員人事で、細田氏に代えて「盟友」の下村博文元文部科学相を本部長にあてましたが、露骨な「改憲シフト」であったうえ、下村氏が憲法審査会の開催に反対する野党を「職場放棄」などののしったため、国民と野党の憤激を買い、審査会での改憲論議が全く進まない結果に終わりました。細田氏の再任は、下村氏の実上の「更迭」に対応するものですが、下村氏は党の選対委員長の要職に引き続きとどまっており、根本的な反省があるとは言えません。

解説 首相に忠実、数頼みの強行策 野党分断・改憲取り込み狙う

安倍晋三首相にとって9条改憲の実現に向けての当面の最大の課題は、衆参の憲法審査会での論議を開始し、推し進めることです。

昨年9月の人事で、党や国会の憲法審査会の要職に改憲強硬派をズバリと配置する「改憲シフト」は国民と野党の警戒と反発を呼び、逆効果となって改憲論議は全く進みませんでした。今回の人事では「反省」を踏まえ、そこを打開することが課題となっています。元国会対策委員長の佐藤勉氏を衆院憲法審査会会長にあてる人事を検討しているのは、野党との交渉経験豊富な同氏の「手腕」に期待してのものともみられます。野党工作、野党分断の動きに警戒を強める必要があります。

しかし、いわゆる「国会対策」は、多数を占める与党が内閣提出法案を効果的に審議、成立させることが課題で、最終的には数の力で押し切るものです。野党との「交渉」でも、審議時間数で野党と折り合いをつけるなど、野党に部分的譲歩を示し「花」を持たせながら、最後は強行採決というのがお決まりのパターンです。

安保法制＝戦争法の強行を指揮した「佐藤国対委員長」の最大の特徴は「官邸直結」であり、首相の意に忠実に強硬策を実行したことです。

しかし「憲法改正」では、数の力で与党の意見を押し切るという発想は通用しません。憲法は、政治を進める与野党共通の土台です。3分の2の特別多数決で改憲発議するとされているのも、野党を含む圧倒的多数の賛成で国民投票にかけることが想定されています。主権者である国民の「改憲の必要性」の認識を背景に、野党との十分な審議、合意がなければ発議には至らないはずで、そもそも数を頼みに「強行採決」で発議しても、国民投票で否決されるリスクが大きくなるのは当然です。

憲法改定を積極的に求める世論は乏しく、「安倍首相のもとでの改憲」に「反対」が世論の多数です。「国対」的な取引によって野党を取り込み、改憲論議を大きく動かせると考えているなら筋が違うと言わざるを得ません。

(中祖寅一)

自民 憲法改正推進本部長などの体制を一新

NHK2019年9月14日 5時18分



憲法改正に向けて、自民党は推進本部長などの体制を一新し、来月召集される見通しの臨時国会で議論を進めたい考えです。一方で、立憲民主党など野党側からは「拙速に進める必要はない」といった意見が出ていて、先行きは不透明な情勢です。

自民党は、党の役員人事に合わせて、憲法改正推進本部長に安倍総理大臣の出身派閥の細田派の会長を務める細田博之元幹事長を起用することを内定しました。

また、衆議院の新しい憲法審査会長には、野党側とのパイプもある、麻生派の佐藤勉元国会対策委員長を推す方向で調整しています。

自民党は、一新した体制のもと、来月上旬に召集される見通しの臨時国会で野党側にも協力を求め、国民投票法改正案の成立を目指すとともに、憲法改正案の議論を進めたい考えです。

ただ、公明党の山口代表は「国会で与党も野党も議論に臨むことができる環境を作っていくことが最初の努力だ」と述べ、丁寧な対応が必要だと指摘しています。

一方、立憲民主党など野党側からは「拙速に進める必要はない」といった声や、国民投票に伴うテレビ広告などの規制をめぐる議論を優先すべきだという意見が出ていて、先行きは不透明な情勢です。

【社説】国民にわかりやすい憲法論議を国会で

2019/9/16 19:05 日本経済新聞 電子版

「新体制のもと、憲法改正に向けた議論を力強く推進する」。安倍晋三首相は内閣改造・自民党役員人事を踏まえ、こう強調した。10月に始まる臨時国会では、憲法改正が大きなテーマとなる。

与野党は改憲か護憲かだけにとらわれず、これからの国のあり方を幅広く、有権者にわかりやすい形で論じてもらいたい。



衆参両院の憲法審査会は近年、ほとんど開かれていない。国会での憲法論議は近年、極めて低調だ。6月に閉幕した通常国会における憲法審査会の審議時間は衆院は2時間、参院は3時間にとどまった。

「憲法について話し合うと、改憲につながりかねない」。護憲勢力には対話そのものに後ろ向きな考えの人が少なくない。自らの主張に本当に自信があれば、こんな態度にはならないはずだ。日本経済新聞・テレビ東京の世論調査によると、憲法について国会で具体的に「議論すべきだ」(77%)が、「議論する必要はない」(16%)を上回った。臨時国会では、憲法審査会を定例日にはきちんと開くべきだ。

まずは国民投票法をめぐる与野党の溝を埋めることが大事だ。ふつうの選挙では実現している「期日前投票の要件緩和」などを、憲法改正の国民投票にも適用する法改正は与野党とも原則、異論はない。食い違うのは、改憲への賛否を訴えるテレビCMに規制を設けるかどうかだ。

「法規制を加えることは望ましくない」とする日本民間放送連盟の主張には一理ある。他方、資金力のある改憲勢力が有利になるとの懸念も無視はできない。自民党が「CMを過度に流すことはしない」と自制的なメッセージを出すのがよいのではないか。自民党が目指す4項目の改憲素案の憲法審査会への提示を拒む理由はない。2018年の党大会で公表済みとはいえ、詳しい中身まで周知されていると言い難い。日本維新の会が求める「高等教育の無償化」なども含め、具体的な改憲案を議論の俎上(そじょう)に載せるのはよいことだ。

重要なのは、改憲勢力が「〇〇時間議論したから機は熟した」という姿勢を絶対にとらないことだ。議論が不十分で、開票してみるまで結果が読めない国民投票をすると、国政が混乱に陥ることは英国の事例からも明らかだ。

安倍首相は「スケジュールありきではない」と語っている。この言葉に嘘があってはならない。

【単刀直言】山東昭子参院議長 変わらない国会でいいのか 産経新聞 2019.9.15 20:27

第32代参院議長に就任しました。昭和49年の初当選以来、国会で感じてきたことを踏まえ、できるだけ機能的な「良識の府」となるよう力を尽くしたい。そのために問題提起したことの一つが、首相が国政の方針を示す所信表明演説を衆院か参院のいずれかで1回にまとめるということでした。

首相の所信表明演説は、衆院で行った後に参院でも同じ内容で行われます。ただ、どうしても参院では演説の鮮度が落ちてしま

う。熱気ある国会としていくためにも、衆参の国会議員が一つになって首相の気合の入った演説を聞き、それぞれが代表質問をしてもよいのではないのでしょうか。

過去には小泉純一郎政権下で衆参の演説の一元化を目指したことがありますが、実現には至りませんでした。議事の在り方や両院の伝統、プライドもあるのでしょうか。しかし、世の中が刻々と変わる時代に、国会だけがいつまでも同じでいいのでしょうか。

国会のペーパーレス化の議論もそうです。今はパソコンなどの情報通信機器を使って簡単に情報共有ができます。それなのに、わざわざ紙の議事録を求める必要がありますか。情報がすぐ入る手段があるにもかかわらず、印刷のために時間やお金をかけることは果たしてベストなことでしょうか。手間とお金をかけることは、誰も喜びませんよね。コストを下げる点において、できることはどんどん解決してほしいです。

先の臨時国会では、重度の障害を抱えるれいわ新選組の木村英子、船後（ふなご）靖彦両参院議員、車いすの国民民主党の横沢高德参院議員が初登院し、国会のバリアフリー化が進んでいます。私は長年、知的障害や聴覚障害がある人たちの支援に携わってきました。

欧米では社会生活のさまざまな場面で障害者を受け入れることが当たり前になっていますが、日本はそういう点ではまだ遅れていますね。障害のある人を特別扱いするのではなく、社会がさりげなく受け入れることが大事なことです。

参院では、重度訪問介護の介助費の負担や質問時間をめぐり課題が出てくるでしょうが、専門的知見を得ながらサポートをしていきます。ですから、障害の有無にかかわらず仕事をしていただきたいですね。

憲法改正の議論についてですか？ これはマスメディアにも投げかけたいのですが、多くの国民が改憲の是非は国会議員が決めるものと思っている気がします。

料理に例えるなら、各党が食材を持ち寄り、国会が料理して、国民に「食べてもらえますか？」と差し出す。それを国民が判断するのが改憲だと思います。

衆参両院には改憲案や改憲の発議を審査する憲法審査会が存在しますが、議論がなかなかできない状況です。改憲議論はまだ土俵にも乗っていません。先の通常国会では改憲手続きを定めた国民投票法改正案の審議をめぐって協議しましたが、与野党で折り合わず成立が見送られました。改憲議論をする以前の話でとどまっています。言論の府なので、大いに熟議を重ねていくことを期待しています。

種々の問題提起をし、一部、批判もありましたが、議事をコントロールしようとしたわけではありません。議長は何も言わなければ波風は立ちませんが、長年国会で仕事をしてきた者として、議論の必要性を感じたからこそその発言でした。それに共感してもらえたら、議院運営委員会や、参院改革協議会などで取り上げ、みんなで協議してくれればいいと思っています。(今仲信博)

国民 玉木代表「数の力で押し切らないように」 憲法審査会
NHK2019年9月14日 13時30分



自民党が憲法改正に向けた党内の体制を一新したことに関連し、国民民主党の玉木代表は「数の力で押し切るような議論にならないようにしてほしい」と述べ、国会の憲法審査会での議論は野党側の意見も聞きながら丁寧に進めるよう求めました。

憲法改正に向けて自民党は、役員的人事に合わせて憲法改正推進本部長に細田博之元幹事長の起用を内定するなど、体制を一新しました。

これに関連して、国民民主党の玉木代表は東京都内で記者団に対し「憲法の議論はワイルドではなくマイルドに進めてもらいたい。決して数の力で押し切るような議論にならないよう尽力してほしい」と述べ、国会の憲法審査会での議論は野党側の意見も聞きながら丁寧に進めるよう求めました。

また自民党が来月召集される見通しの臨時国会で、国民投票法改正案の成立を目指していることについて、玉木氏は「国民民主党は、政党によるテレビ広告を原則禁止することを盛り込んだ独自の法案を国会に提出しているため、まずはこちらをしっかりと審議して通してもらいたい」と述べました。

憲法改正 必要性訴える 自民 稲田幹事長代行 全国行脚開始
NHK2019年9月14日 20時58分



自民党が目指す憲法改正に理解を得ようと、稲田幹事長代行は14日から各都道府県を回る「全国行脚」を始めました。

今回の自民党の役員人事で新たに就任した稲田幹事長代行は党が目指す憲法改正に理解を得ようと全国を回ることにしていて、初日の14日は滋賀県高島市で講演しました。

この中で稲田氏は「人事のあと初めて開かれた役員会で、安倍総理大臣は自民党の悲願である憲法改正をあと2年の任期で実現するため一丸となって取り組むと強く述べた」と説明しました。そして「憲法改正がなぜ必要なのかまだ国民に理解されていない。幹事長代行として、この1年、全国津々浦々を回ってなぜ必要か訴えていきたい」と述べました。

また「災害があると自衛隊が頑張っているが、自衛隊は憲法違反だという指摘もある」として、自衛隊の明記など党が目指す憲法改正に理解を求めました。

憲法改正に向けて自民党は推進本部長などの体制を一新し、来月召集される見通しの臨時国会で議論を進めたい考えです。

石破元幹事長 自衛隊明記より生活優先すべき
NHK2019年9月13日 19時58分



自民党の石破元幹事長は、内閣改造で石破派の議員の入閣がなかったことについて、「あれこれ言うべきではない」と述べるにとどめる一方、安倍総理大臣が意欲を示す憲法改正による自衛隊の明記をめぐるのは、国民生活に関わる問題を優先すべきだという考えを示しました。

石破元幹事長は、東京都内で記者団に対し、内閣改造で、石破派の議員の入閣がなかったことについて「派内にすばらしいと思う人はたくさんいるが、人事権は安倍総理大臣にあり、あれこれ言うべきではない」と述べるにとどめました。

一方で、安倍総理大臣が自衛隊を明記するための憲法改正に意欲を示していることについて、「自衛隊を書き込むだけで、何も変わらないなら、エネルギーは、ほかに費やしたほうがいい。国民生活に関わる問題が優先するのは当然だ」と指摘しました。

また、萩生田文部科学大臣が、官房副長官当時、学校法人「加計学園」の獣医学部新設をめぐる、文部科学省の局長と面会した際の発言をまとめたときれる文書が、おとし、見つかったことについて、石破氏は「大臣という任を与えられたからには、どんな場でも説明するということだろう。そこにすべてかかっていると思う」と述べました。

閣僚の資質追及と枝野氏 「臨時国会までに調査」

2019/9/16 20:33 (JST)共同通信社

立憲民主党の枝野幸男代表は 16 日、10 月上旬召集の臨時国会で武田良太国家公安委員長ら第 4 次安倍再改造内閣の閣僚の資質について、追及する考えを示した。「閣僚として適切かどうか国会召集までに調べて指摘したい」と述べた。栃木県小山市で記者団の質問に答えた。

元暴力団関係者から武田氏側に政治資金パーティー代が支払われたとの週刊誌報道や、加計学園の獣医学部新設を巡る萩生田光一文部科学相の働き掛けの有無などを問われ「さまざまな問題が指摘されている」と語った。

衆院憲法審査会への対応では、国民投票法改正案の採決に先立ち、投票時の CM 規制の議論を進めるよう重ねて求めた。

武田氏「政治資金、適切に処理」 週刊誌報道で

2019/9/13 12:05 (JST)9/13 12:11 (JST)updated 共同通信社

武田良太国家公安委員長は 13 日の閣議後記者会見で、週刊朝日が電子版で、元暴力団関係者から武田氏側に政治資金パーティーの代金が支払われたと報じた件に関し「個別の報道についてはお答えを差し控える」とした上で「政治資金は法令に基づいて適切に処理されている」と話した。

週刊朝日は同日の電子版で、2009 年と 10 年、元暴力団関係者と、この人物が実質的な代表である企業から、政治資金パーティー代として武田氏側に計 120 万円が支払われたと伝えた。

ダム建設「誰かが犠牲に」 北村地方創生相

日経新聞 2019/9/14 18:57 (2019/9/14 19:30 更新)

北村誠吾地方創生相は 14 日、長崎県佐世保市で記者会見し、一部住民が反対している同県川棚町の石木ダム建設計画について、生活の維持のためには住民の犠牲はやむを得ないとの認識を示した。「誰かが犠牲 (になり)、協力して役に立つことで世の中は成り立っている」と発言した。

ダムは 1962 年に北村氏の地元佐世保市の水不足解消や、川棚町の治水を理由に県などが計画。予定地の土地明け渡し期限が 11 月に迫っており、反対派住民の反発が強まるのは必至だ。

会見で北村氏は、ダム建設で景観が変わるとの指摘について「原風景への思いは人それぞれに価値観の違いがある。誰もが共通に思うものだとと言えるかどうか」と疑問を呈し、「人がそれぞれの立場と生き方の中で、自分自身の何かを犠牲にして生きていると思う」と持論を述べた。

佐世保市民として渇水に苦しんだ経験からダムの必要性を強調し、反対派住民が納得できるまで議論を尽くす必要があるとも指摘した。

今年 5 月、県収用委員会が反対地権者に土地明け渡しを命じる判決を出し、11 月 18 日までに立ち退かなければ行政代執行が可能となるが、水没予定地には現在 13 世帯が暮らしており、反対派住民らの座り込み活動が続いている。

〔共同〕

【政治デスクノート】本当は怖い内閣改造 辞任ドミノで支持率急落の過去も

産経新聞 2019.9.13 01:00

安倍晋三首相が 1 日、第 2 次内閣発足以降 6 度目となる内閣改造を実施した。「安定と挑戦の布陣」と言うように、政権の骨格は維持したまま大幅な閣僚の入れ替えを断行した。内閣改造は清新さを国民にアピールできるメリットもあるが、過去には人事が政権を揺るがす事態に発展したこともある。

「しっかりと安定した土台を維持しながら、その上に老壮青、幅広い人材、フレッシュな強い突破力によって、令和の時代の新しい国づくりに果敢に挑戦していく。今回の内閣はまさに『安定と挑戦の内閣』だ」

首相は第 4 次安倍再改造内閣発足後の記者会見で、こう述べた。布陣を見るとその言葉通り、第 2 次内閣発足以来、政権の屋台骨を支えてきた菅義偉官房長官と麻生太郎副総理兼財務相を留任させ、7 月の参院選を勝利に導いた自民党の二階俊博幹事長と岸田文雄政調会長も続投させた。

一方で、初入閣は国民的人気の高い小泉進次郎前自民党厚生労働部会長ら 13 人。19 人の閣僚枠を考えると、大幅な入れ替えも行ったといえる。内閣改造で新たな人材を登用することは、国民にフレッシュさを印象づけるとともに、党内で首相への求心力をアップさせるメリットがある。

しかし、これまで国会を乗り切ってきた布陣を変えることには大きなリスクも伴う。その怖さをよく知っているのは首相にほかに

ならない。平成18年に発足した第1次内閣は相次ぐ閣僚の不祥事などで内閣支持率が低迷。翌年の参院選での敗北を経て、首相は自ら身を引いた。

第1次内閣は、発足からわずか3カ月後の12月に佐田玄一郎行政改革担当相の事務所費問題が発覚し、辞任。翌年の6月には、事務所費問題や光熱水費問題などが次々と明るみに出た松岡利勝農林水産相が自ら命を絶った。さらに7月には久間章生防衛相が先の大戦での原爆投下を「しょうがない」と発言した責任を取って辞任、8月には松岡氏の後任の赤城徳彦農水相にも事務所費問題が発覚して辞任に追い込まれた。

第1次内閣は首相の若さに期待も高く、発足直後の18年9月の産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）の合同世論調査では、内閣支持率が63・9%を記録した。しかし、佐田氏の辞任で39・1%へと急落する。その後も閣僚の辞任が相次いだ影響が響き、じりじりと支持率は下がり続けた。翌年7月には危険水域といわれる30%を割り込み、同月の参院選大敗で衆参の多数派が異なる「ねじれ国会」を招くと、直後の世論調査では22・0%にまで落ち込んだ。

その後の内閣改造でいったん40%近くまで支持率を戻したが、赤城氏の後任の遠藤武彦農水相が組合理事長を務める農業共済組合の補助金不正受給問題が発覚し、20%台へと急落。首相は辞任表明へと至った。

「辞任の連鎖」防いで長期政権に

こうした反省を踏まえたのだろう。再登板し、24年に発足した第2次内閣は改造までの約2年間、閣僚の辞任は1人もなし。その後、第4次改造内閣までの間に8人の閣僚が辞任しているが、首相は安定した支持率を保ってきた。それはなぜか。

第1次内閣のように閣僚の辞任がドミノ倒しのように続かないためだ。入閣候補者に金銭や異性とのスキャンダルがないか、「身体検査」を徹底していることが功を奏しているようだ。

ある政府関係者は「何よりも大事なのは安定ということ。安倍政権は安定してきたから、これまで続いてきた」と説明する。アベノミクスの効果で景気を好転させ、日米同盟をより強固にした外交手腕への国民の評価も高い。通算在職年数が6年を超え戦後最長を更新し続けているのも、第2次内閣以降、人事の失敗が続かなかったからだ。

ただ、気になることがある。不祥事での辞任は減ったが、不適切な言動の責任を取って、その職を辞する閣僚は増えているような気がする。第3次再改造内閣で辞任した今村雅弘復興相は、東日本大震災の被害を「東北で良かった」と発言。第4次改造内閣で辞任した桜田義孝五輪相は自民党議員のパーティーで「復興以上に大事なのが議員」と発言した。第4次内閣で健康問題を理由に辞任した江崎鉄磨沖縄北方担当相も、国会での対応方針を問われると「北方領土問題に関しては素人」「しっかりお役所の原稿を読ませていただく」などと発言して批判を浴びた。

7月の参院選後、首相は「期限ありきではないが、私の任期中に何とか実現したい」として、自らの総裁任期である令和3年9月までに憲法改正の国会発議と国民投票を目指す考えを示した。果たして今回の改造内閣は、その思いを実現する礎になるのか。

試金石となる臨時国会は来月上旬に始まる。

（政治部次長 小島優）

派閥推薦で初入閣組 疑惑？資質不安？

東京新聞2019年9月14日 朝刊

記者会見する武田良太国家公安委員長兼防災相（上）と竹本直一科技相（下）＝11日、首相官邸で



十一日発足の第四次安倍再改造内閣で、自民党の派閥推薦で初入閣した閣僚のうち、二氏について十三日、早くもスキャンダルや担当分野での資質を不安視される指摘が相次いだ。再改造内閣には、野党が問題視する新閣僚がほかにもおり、十月に召集される臨時国会で徹底追及する構えだ。（木谷孝洋）

武田良太国家公安委員長は、元暴力団関係者から献金として政治資金パーティーの代金が支払われたと週刊朝日電子版で報じられた。警察庁を所管する武田氏は十三日の記者会見で「個別の報道には答えを差し控えたいが、政治資金は法令に基づき適切に処理されている」と説明した。

同電子版は、竹本直一科学技術担当相が元暴力団幹部と一緒に撮影した写真が会員制交流サイト（SNS）に掲載されていたとも報道。竹本氏は会見で「名前も知らないし、初めて会った人」と関係を否定した。

竹本氏については、IT行政担当なのに自身の公式ホームページが閲覧できなくなっていることも明らかに。「管理している会社からロックがかけられた状態になっている。早く復旧してくれと言っている」と釈明に迫られた。

田中和徳復興相もかつて、暴力団の関連企業をパーティー券の販売先として自らの政治団体の政治資金収支報告書に記載。問題発覚後に「事務所のミス」として修正したことがある。

また、萩生田光一文部科学相は学校法人「加計学園」の獣医学部新設問題を巡り自身の関与を指摘した文書をまとめた因縁の文科省を率いる。官房副長官当時の二〇一六年に「官邸は絶対やると言っている」と早期設置を迫ったとされたが、萩生田氏は十一日の就任会見で「なぜこんなことに巻き込まれたのか」と関与

を重ねて否定した。

西村康稔経済再生担当相は官房副長官だった一八年、米国カジノ事業者の関係者が西村氏の政治資金パーティー券を購入したと週刊誌が報道。国会で事実関係を大筋で認めたが「法令に従い適正に処理した」と答弁し、同年七月に成立したカジノを含む統合型リゾート施設（IR）整備法案との関連はないとした。

こうした新閣僚に対し、野党は「国会での論戦を強めていきたい」（国民民主党の玉木雄一郎代表）と臨時国会での追及に手ぐすね引く。

自民党幹部は「（野党に）たたかれても最後まで生き延びられるかだ」と早くも危機感を募らせる。

しんぶん赤旗 2019年9月12日(木)

原田氏発言に厳重抗議 「汚染水は海放出」に 岩渕・伊藤両議員



(写真) 原田前環境相の発言

に抗議する（右から）岩渕、伊藤の両氏＝11日、国会内

日本共産党の岩渕友、伊藤岳の両参院議員は11日、東京電力福島第1原発の汚染水をめぐり原田義昭前環境相の発言について、環境省に強く抗議しました。

原田氏は環境相在任中の10日、閣議後記者会見で、東電福島第1原発事故によってタンクにたまり続けている処理後の高濃度放射性物質トリチウムを含んだ汚染水について、「（海に）放出して希釈するしか方法がない」と述べました。

岩渕、伊藤両氏は「『海洋放出許せない』との地元の声を受けて経済産業省の小委員会で検討している最中に、このような発言をすることは許されない」、「福島のことがわかっていたら、こんな発言はあり得ない。福島だけの問題ではない。国会議員としての資質が問われる」と厳しく批判しました。

開会中の福島県議会では、日本共産党の宮本しづえ議員が本会議での代表質問で厳重に抗議しました。

対韓国、強硬姿勢変わらず＝河野氏横滑り、継続重視－安倍首相時事通信 2019年09月15日08時12分

安倍晋三首相は内閣改造後も、韓国に対して、引き続き厳しい姿勢で臨む方針だ。韓国との間で懸案を抱える外務、防衛、経済産業の3閣僚には、これまで対韓外交を担ってきた河野太郎前外相を防衛相に横滑りさせるなどした。徴用工問題では韓国側の具体的な対応を強く迫る考えだ。

河野氏は外相時代、徴用工問題をめぐり韓国側の対応を受け、南官杓駐日大使に「極めて無礼だ」と抗議し、韓国が日韓軍事情報包括保護協定（G SOMI A）破棄を決めた際も「地域の安全保障環境を見誤った」と断じた。河野氏の防衛相起用について、政府高官は「閣内から外せば、問題があったと思われかねない」と述べ、外交の継続性を重視したと解説する。

と述べ、外交の継続性を重視したと解説する。

外相には、首相がその手腕を評価する茂木敏充氏を据えた。茂木氏は13日の記者会見で、外交当局間の接触は続ける意向を示しつつ、「国際法違反の状態の一刻も早い是正を求める」と述べ、一歩も引かない姿勢を強調した。

輸出管理を所管する菅原一秀経産相は菅義偉官房長官に近い。自民党関係者は3閣僚の顔触れについて、「対韓外交は今後も官邸が主導する」との見方を示した。

韓国政府は11日、日本政府による輸出管理強化に対し、世界貿易機関（WTO）に提訴したことを発表。日韓対立が泥沼化する中、日本政府関係者は「韓国はこの布陣を見て身構えているだろう。強硬姿勢は変わらないとのメッセージになる」と強調した。

沖縄知事、辺野古移設に反対訴え 初訪問の衛藤担当相に 2019/9/13 19:05 (JST)共同通信社



沖縄県庁を訪れ、玉城デニー知事(右)

と会談する衛藤沖縄北方相＝13日午後

衛藤辰一沖縄北方担当相は13日、就任後初めて沖縄県を訪れ、玉城デニー知事と県庁で会談した。玉城氏は、米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する姿勢を改めて訴え、政府に県側との対話を求めた。衛藤氏は「沖縄振興と基地負担軽減に内閣を挙げて頑張りたい。本音の話をしたい」と述べるにとどめた。

玉城氏は、基地負担の軽減や沖縄振興費の増額などを求める要望書を提出。「辺野古の基地反対の民意は知事選と県民投票で示されている。対話に真摯に応じてほしい」と注文した。

衛藤氏は会談に先立ち、糸満市の平和祈念公園にある国立沖縄戦没者墓苑で献花した。

しんぶん赤旗 2019年9月14日(土)

「靖国」派ズバリ 自民閣僚 第4次安倍再改造内閣 19人中18人 小泉氏も毎年参拝

11日に発足した第4次安倍再改造内閣のうち安倍晋三首相ら自民党籍の閣僚計19人中18人が「靖国」派改憲・右翼団体と一体の議員連盟に加盟していることが、本紙の調査で明らかになりました（表）。唯一未加盟の小泉進次郎環境相も、2009年の衆院議員当選後、毎年、終戦記念日の8月15日には靖国神社（東京・九段北）を参拝しています。

問題の「日本会議国会議員懇談会」と「神道政治連盟（神政連）国会議員懇談会」はそれぞれ、改憲・右翼団体の「日本会議」、「神道政治連盟」と一心同体の議連です。

両団体とも、日本の過去の侵略戦争と植民地支配を「自存自衛」「アジア解放」の「正義の戦争」として肯定・美化する靖国神社と同じ立場から、「憲法改正」、天皇や首相の靖国神社公式参拝、「愛国心教育」の強化を主張するなど、戦前の日本への回帰を志

向。一方で、「ジェンダーフリー」や夫婦別姓には反対しています。両団体は、それらの政策に基づく「推薦基準」に応じて政治家を国政選挙で推薦し、当選後に議連の会員として迎えてきました。

第4次安倍晋三再改造内閣 「靖国」派改憲・右翼団体議連加盟状況		
	日本会議※1	神改連※2
安倍晋三首相	●特別顧問	●
麻生太郎副総理兼財務相	●特別顧問	●
高市早苗総務相	●副会長	●
河井克行法相		●
茂木敏充外相	●	●
萩生田光一文相	●政審副会長	●
加藤勝信厚労相	●副幹事長	●
江藤拓農水相	●副幹事長	●
菅原一秀経産相	●	●
赤羽一嘉国交相 ※3		
小泉進次郎環境相 ※4		
河野太郎防衛相	●	●
菅義偉官房長官	●副会長	●
田中徳穂復興相		●
武田良太国家公安委員長	●	
高橋洋一閣議総務担当相	●幹事長	●
竹本直一IT担当相	●	●
西村康敬経済再生担当相	●副幹事長	●
北村誠吾地方創生担当相	●	●
橋本聖子五輪担当相	●副会長	

※1 「日本会議国会議員懇談会」の略（●）の直後の肩書は同懇談会内の役職
 ※2 「靖国政治連盟国会議員懇談会」の略
 ※3 公明党所属
 ※4 2009年の衆院議員当選後、毎年8月15日に靖国神社を参拝

安倍首相は内閣改造後の記者会見で、自民党は「老・壮・青の人材の宝庫」だなどと誇りましたが、起用された閣僚を見る限り、首相同様の歴史修正主義者と改憲・右翼政治家の“宝庫”となっているのが実態です。

【詳報】7年目の組閣 「安定」か「でがらし」か

朝日新聞デジタル 2019年9月11日 21時32分

【動画】11日に予定される内閣改造。注目のポストは誰に？注目のあの人はどうなる？

11日午前、自民党新四役の人事を決めた安倍晋三首相は、午後、第4次安倍再改造内閣を発足させました。政治家の発言や動きをタイムラインで追い、ポイントをわかりやすく解説します。寸評＝斉藤太郎記者

7年目の政権にネタ切れ感 首相駆使の「スローガン政治」限界みえた

安倍晋三首相は内閣改造後の記者会見で、新たな陣容を「安定と挑戦の内閣」と名付けました。事前に表明していた改造の方針をそのまま引用した形です。一方で、過去の組閣で「〇〇担当相」と名付け、「目玉」として演出した新設の閣僚ポストは作りませんでした。

ここから垣間見えるのは何か。首相がこれまで駆使してきた「スローガン政治」の限界かもしれません。

民主党から政権を奪還した2012年末、第2次安倍政権発足時の組閣で、首相は「危機突破内閣」と銘打ちました。アベノミクスを前面に掲げ、デフレ脱却・円高対策担当相も設けました。

14年の改造で掲げたのは「実行実現内閣」。地方創生相や女性活躍担当相が登場しました。

ただ、首相のかけ声はだんだんと「看板倒れ」のようになっていきます。

15年の「未来へ挑戦する内閣」は1億総活躍相、16年の「未来チャレンジ内閣」は働き方改革担当相、17年の「仕事人内閣」は人づくり革命担当相――。年1回の内閣改造のごとに、新たな担当相という「看板」が並びました。

昨年の改造に合わせた時の新設ポストは、全世代型社会保障改革担当相。ネーミングは「全員野球内閣」でした。ややもすれば、内向きな印象を与えかねないスローガンでした。

そんな中、首相は今回の改造で目玉閣僚を新設せず、これまで設けた全世代型社会保障改革や1億総活躍の担当相には、自らに近い新任閣僚を充てました。会見では「自民党は老壮青の人材の宝庫」などと各閣僚の持ち味を説明するのが中心。内閣全体で何を指すかは、よく見えてきませんでした。

政権発足から6年半を超え、年末には7年目に入ろうとしている長期政権に、いよいよ「ネタ切れ感」が漂ってきた――。そんな風にも見えました。



初閣議を終え、記念撮影をする第4次安倍再改造内閣の閣僚ら＝11日午後7時22分、首相官邸、高橋雄大撮影
寸評＝今野忍記者
過去に問題抱えた議員多い新内閣 「チャンス」到来の野党、統一会派で対抗へ

今回の内閣改造を受け、「1強多弱」などと揶揄（やゆ）され、安倍政権に主導権を握られ続けてきた野党は反転攻勢に転じることができのでしょうか。

「野党がだらしがないから助かるよ」。政権幹部を取材すると、よくこういった発言を耳にします。安倍晋三首相も「あの悪夢のような民主党政権の誕生を許してしまった」と述べ、7年近く前に自身が政権を奪い返した旧民主党政権への批判を繰り返しています。

今年は2009年9月の「政権交代」から10年になります。旧民主党政権は沖縄の米軍基地問題や消費増税といった主要政策で意見がまとまらず分裂し、3年3カ月あまりで崩壊。安倍総裁率いる自公勢力に政権の座を明け渡しました。

あれから約7年、民主党は民進党に看板を掛け替え、さらに、所属議員たちは立憲民主党と国民民主党などに分裂しました。異例の長期政権を担っている安倍首相に、共産党なども含めた野党は太刀打ちできるのでしょうか。

1週間前、09年に自公政権から政権交代を成し遂げた鳩山由紀夫元首相に会いました。鳩山氏は自身の政権運営を「確かに私たちの政権運営は稚拙だったが、民主党政権が目指した政治理念

まで否定されてしまうのは本当に悔しい」と振り返りました。

「コンクリートから人へ」のスローガンのもと、大型土木工事から教育無償化などに大胆に予算を組み替える——。実現できなかったその政治理念は、実は安倍政権になってから一部が採り入れられていると言えます。幼児教育無償化などがそれです。

そんな中、今回の改造内閣の陣容をみると、やっと野党に「チャンス」が巡ってきたかもしれません。安倍首相が起用した閣僚の中には、過去に発言が問題視されたり、週刊誌で醜聞が流されたり、政権をめぐる疑惑に関与したのではないかと追及されたりした議員も少なくありません。野党にとっては「追及しがいのある陣容」と言えるのではないのでしょうか。

そんな改造内閣の閣僚たちと野党が本格的に対峙（たいじ）するのは、来月に召集される見通しの臨時国会から。枝分かれして「安倍1強」を許してきた旧民主党勢力は、やっと国会内で「統一会派」づくりに動き始めました。統一会派ができれば、衆院で100人を超える勢力になります。旧民主党の閣僚経験者の一人は「何とかしなきゃという機運がやっとでてきた」と打ち明けます。

これまでの野党同士の対立を越え、一体となって「お友達側近重用内閣」（立憲の福山哲郎幹事長）に対抗できるのか。安倍首相が改造を終えた次のステージは、野党の動きに注目です。

18:45

公明・山口代表、首相の改憲意欲に「自民党の目標。内閣に発議権ない」

公明党の山口那津男代表は、安倍晋三首相が記者会見で憲法改正に改めて意欲を示したことについて、記者団に「首相としてではなく、自民党の目標として意欲を示された。あくまで内閣に（改憲の）発議権があるわけではない」と述べた。首相の前のめりな姿勢を牽制（けんせい）したかたちだ。

山口氏は国会での憲法論議をめぐり、「憲法審査会の我が党のメンバーの意見を聞くと、『しっかりと合意のできるところから進めてもいいのではないかと』という考えを持っている人もいる」と指摘。「野党とお互いに議論ができる環境をつくった上で、合意をどうつくるか。そういう議論を進めるべきだと思う」と述べ、改憲論議は慎重に進めるべきだとの認識を改めて示した。

18:30

組閣の首相が会見「憲法改正、必ずや成し遂げていく」

「令和の時代の新しい日本を切りひらいていく。そしてその先にあるのは、自民党立党以来の悲願である憲法改正への挑戦だ」

安倍晋三首相は首相官邸で内閣改造後初めての記者会見に臨んだ。首相は改造内閣について「安定と挑戦の内閣」と宣言。「自民党は『老荘青』、人材の宝庫です」などと述べ、約30分の会見の半分を閣僚一人ひとりの紹介に費やした。

側近の衛藤晟一参院議員を担当相に起用した肝いりの政策「1億総活躍」についても力を込め、「みんな違って、みんないい」「ゆりかごから墓場まで」などと強調。「画一的な社会システムを根本から改める」と語った。

そのうえで、首相は憲法改正について改めて意欲を表明。憲法改正は困難な挑戦だと位置づけつつ、「必ずや成し遂げていく」

と語った。



第4次再改造内閣発足後、記者会見する安倍晋

三首相＝2019年9月11日午後6時11分、首相官邸、仙波理撮影

18:15

立憲・福山氏、進次郎氏に「環境省をあげて脱原発を」

立憲民主党の福山哲郎幹事長は「脱原発」に向けて小泉進次郎環境相にエールを送った。記者団に「脱原発は（小泉氏の父の）小泉純一郎元首相がずっと言っている。小泉環境相が原発をなくす動きを環境省をあげてやっていただくことに期待する」と述べた。

福山氏は、記者団の取材直前まで安倍晋三首相の記者会見を見ていたが、途中で切り上げて取材に応じた。内閣改造について「期待感も高揚感もない改造だった。先ほど安倍首相の会見を拝見したが、何を狙っているのか、何をやりたいのか全く分かりません」と語った。

17:50

森元首相、橋本聖子五輪相に「やっと受けてくれた」

2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委員会の森喜朗会長（82）は、初入閣した橋本聖子五輪相を「娘のような存在」とかわいがる。森会長は都内で記者団に「並の人じゃないね、考えていることが。それをやり遂げる人だね」と橋本氏について語った。

森会長によると、安倍晋三首相はかねて橋本氏に五輪相の就任を打診していたが、橋本氏が日本スケート連盟会長などの役職に就いており「中途半端なことをしたくない」と断っていたという。森会長は「やっと受けてくれて良かった」と語った。



1992年アルベールビル五輪の女子1500

メートルで、獲得した銅メダルを手に観客の祝福にこたえる橋本聖子

17:50

森・元首相、進次郎氏の入閣に「取りも取ったり、受けも受けたり」

森喜朗・元首相は、小泉進次郎氏の環境相就任について記者団に問われ、「取りも取ったり、受けも受けたり、だな。やっぱり（小泉氏も）人の子だよ。なかなか（安倍）総理も深いね。円熟

されてきたな、この人事を見ている」と語った。

森氏は安倍晋三首相の後見役にあたる。小泉氏に期待することを聞かれると、「僕はそういうことは言っていない。選ぶ総理が円熟しているということ。わかんないよ、(小泉氏が) いいかどうかは、まあ、成功してもらわないと困るけど」とけむに巻いた。

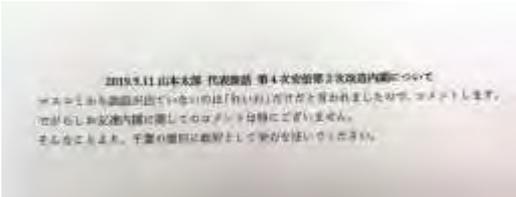


森喜朗・元首相

17:30

れいわ・山本氏が3行コメント「でがらしお友達内閣にコメントない」

「れいわ新選組」の山本太郎代表が第4次安倍再改造内閣についてのコメントを出した。A4判の1枚で、表題を除くと3行だけ。文字数にして100文字。「マスコミから談話が出ていないのは『れいわ』だけだと言われましたので、コメントします。でがらしお友達内閣に関するコメントは特にございません。そんなことより、千葉の復旧に政府として全力を注いでください」



れいわ新選組の山本太郎代表のコメント

寸評＝小野甲太郎記者

官僚たちの頼みの綱は新大臣の「トリセツ」 分厚いと安心感も
内閣改造の時期になると、霞が関では新閣僚の「取り扱い説明書（トリセツ）」が官僚の間でやりとりされます。

就任した途端に大臣は行政の責任者となります。記者会見に臨む必要があるし、多くの職員を従える「社長」にもなります。しかし、必ずしもその官庁の政策に通じているとは限りません。事前に相性のいい秘書官も任命しておかなければなりません。

自分の官庁の大臣は誰になるのか、どんな人なのか――。官僚たちは不安と期待を抱いて内閣改造を見守っています。そんなときに頼みの綱となるのがトリセツです。大臣の「特徴」「注意事項」「お気に入り」など、経歴などでは分からない細かな情報が書かれています。

再任であったり、ポストの横滑りだったりする閣僚の場合は、過去に大臣や副大臣・政務官などを務めていた官庁の担当者から聞き取ります。新任閣僚の場合も、日ごろから国会議員と接触する機会のある職員や関係者らから情報を収集。こうしたデータをまとめて、新大臣を迎える準備をするというわけです。

ある省庁では、新大臣の情報を、その人が以前大臣を務めていた省庁から入手。食べ物の好き嫌い、出張時のスケジュールの組

み方、「NG項目」など大臣の「取り扱い」の際の注意点を省内で共有しました。職員によると、トリセツが分厚いと注意事項が多いことに緊張が高まる一方、先回りして準備ができるため安心感にもつながるそうです。

新任大臣の滑り出しを支える官僚たちの知恵袋であるトリセツがこの日も出回っているかもしれません。



天皇陛下から認証を受ける赤羽一嘉

国土交通相。中央は安倍晋三首相＝2019年9月11日午後4時51分、皇居・宮殿「竹の間」、代表撮影

17:00

認証式終わる 第4次安倍再改造内閣が正式発足

第4次安倍再改造内閣の新任閣僚たちが皇居での認証式を終えた。改造内閣が正式に発足した。



認証式に出席するため、首相官邸を出

て皇居へ向かう小泉進次郎氏（左）と江藤拓氏。左後方は萩生田光一氏＝2019年9月11日午後3時46分、首相官邸、山本裕之撮影

16:00

首相の影響力増す？ 首相側近の世耕氏「参院が最優先」と強調
経済産業相から自民党参院幹事長に「横滑り」した世耕弘成参院議員は、参院の新執行部による記者会見に臨んだ。世耕氏は安倍晋三首相の側近として知られ、参院への安倍首相の影響力が増すのではないかとの見方もある。世耕氏は会見で「誤解がないように申し上げておきたい。参院としての考え方を最優先に取り組んでいきたい」と強調した。

世耕氏は第1次安倍政権で首相補佐官、第2次政権では官房副長官を経て入閣している。今回の参院執行部入りについて、世耕氏は会見で「私は総理の人事で参院幹事長になったわけではない。参院の人事として参院幹事長になっている」と説明した。

世耕氏の幹事長就任をめぐるのは、党内外から「参院が首相官邸の言いなりになるのではないか」との声が出ている。

15:00

「お友達総ざらい内閣」 共産・小池氏

共産党の小池晃書記局長は今回の内閣改造について東京・代々木の党本部で記者団の取材に応じ、「お友達総ざらい内閣かな。一糸乱れぬ右向きのメンバー、改憲シフト。一刻も早くお引き取りいただけるような状況をつくるために全力を挙げたい」と酷評した。

新閣僚の課題＝石川春菜記者

「ご飯論法」批判の加藤氏 社会保障制度改革どうかじ取り

社会保障改革を担う厚生労働相には、自民党総務会長だった加藤勝信氏が就く。2017年8月から18年10月まで厚労相を務め、再登板となる。厚労行政に精通した手堅い仕事ぶりで、安倍政権の「安定」の一翼を担う。ただ、質問に真っ正面から答えない姿勢が、「ご飯論法」と批判されたこともある。

安倍晋三首相の父・晋太郎氏の側近だった加藤六月・元農林水産相の娘婿で、安倍氏に近い。第2次安倍政権以降、官房副長官や1億総活躍相など要職に起用され続けてきた。

今回も「首相官邸直結」で、政権の最重要課題の一つとなる社会保障制度改革に取り組むとみられる。政権は、団塊の世代が75歳以上になり始める22年度から社会保障費が急増すると見込み、国民の負担増や社会保障サービスの削減などを検討する会議を新設する方針。年金と介護保険の改革は来年の通常国会に関連法案を提出、医療保険の改革案は来夏に取りまとめる予定で、検討を加速させる。

根本匠厚労相は官僚が用意した答弁を読み上げることが多く、閣内での存在感も薄かった。加藤氏は、立場によって賛否が激しく割れる社会保障制度改革のかじ取りをどう進めるのか、手腕が問われる。10月からの臨時国会では早速、年金財政検証の結果や老後不安などをめぐる野党の追及を受ける立場となる。

熊本・蒲島知事、進次郎氏に「水俣病問題を前に進めて」

熊本県の蒲島郁夫知事は記者会見で、小泉進次郎氏の環境相就任について「水俣病の問題を前に進めてほしい」と話した。水俣病被害者救済法（特措法）に基づく住民の健康調査について「ずっと特措法に書かれているが、なかなか（環境省による）調査手法の開発が進んでいない。開発の加速化をお願いしたい」と期待。「学ぶ力は行動力と同じようにあるのではないか。（父の）純一郎さんも短期間で問題の本質をつかむ力があるので、期待している」

14:00

加計文書に登場の萩生田新文科相 国民・玉木氏「担当大臣として説明責任」



首相官邸に入る、文科相に内定した萩生

田光一氏＝11日午後3時18分、高橋雄大撮影

国民民主党の玉木雄一郎代表は記者会見で、加計（かけ）学園の獣医学部新設問題で、文部科学相に就く萩生田光一氏への追及を強める考えを示した。

獣医学部新設をめぐるのは、文科省に残された「10/21萩生田副長官ご発言概要」と題した文書には、2016年10月、当時官房副長官だった萩生田氏が「官邸は絶対やると言っている」などと文科省に対応を迫る様子が書かれていた。萩生田氏は文書

の内容を否定しているが、玉木氏は会見で「メモは文科省でつくられた。担当大臣として説明責任が求められる。しっかりと国会で説明していただきたい」と述べた。

14:00

維新・松井氏「もう育休と言っている場合じゃない」 進次郎氏に

日本維新の会代表の松井一郎・大阪市長が記者会見した。小泉進次郎氏の初入閣を受け、同氏が育児休暇取得を検討していたことについて「内閣の一員になったんだから、もう育休と言っている場合じゃなくなった」と述べた。議員報酬は育休中も全額支出されることをあげて、「休んで満額の報酬という、納税者から見たら『ちょっと違うんじゃないの』ということになると思う」とも語った。

13:50

「最高じゃないか」 進次郎氏の初入閣に父・純一郎元首相

「良かったな。環境問題は大事だから最高じゃないか」。環境相で初入閣することになった小泉進次郎氏は、父親である純一郎元首相からこう言われたという。首相官邸であった閣僚内定者の「呼び込み」後、記者団に明らかにした。

官邸のエントランスホールで小泉氏を囲んだ記者とカメラマンは50人ほど。他の閣僚候補の囲み取材は数分で終わる中、質問がなかなか尽きず18分に。注目人事ぶりを改めて印象づけた。

小泉氏によると、安倍晋三首相から2日前の9日に電話があり、環境相というポスト提示があったという。その時の心境を「理屈じゃない。入閣要請に自然と体が出た感じ」と語った。

首相からの電話の前に菅義偉官房長官からも電話があったことも明らかにしたが、その際の内容については「秘めておくべきことだ」と語るにとどめた。

8月に結婚したばかりの妻の滝川クリステルさんについては「妊娠している妻の疲れやストレスなど負担にならないように支えたい」と気遣いをみせた。

新閣僚の課題＝檜崎貴司記者

途切れなく表舞台歩んだ茂木氏、念願の外相に 外交どう向き合う



首相官邸を出る際に、握手をする茂木敏充氏（右）と萩生田光一氏＝2019年9月11日午後1時44分、山本裕之撮影

外相に就任する茂木敏充氏は安倍政権下で経済産業相を務めるなど経済政策に明るく、首相の信頼も厚い。今年4月には経済再生相として、閣僚級の本格的な協議を開始した日米貿易交渉を、7回の協議で8月の大枠合意という「スピード決着」に導いた。

そんな茂木氏は、実は2012年末の第2次安倍政権発足時から「表舞台」を歩いてきた。直前の党総裁選では安倍晋三氏の対立候補だった石原伸晃氏の選挙対策本部で幹部を務めたものの、

安倍首相が経済産業相に起用。その後、党選対委員長、党政調会長を歴任し、直近は経済再生相を務めた。

茂木氏本人も意欲を示してきた外相ポスト。どのような課題が待つのか。

茂木氏は小泉内閣で外務副大臣を務め、日本外交に関する著作もある。ただ、いまの日本外交は難題山積だ。韓国とは元徴用工訴訟や対韓輸出手続きの厳格化、軍事情報包括保護協定(GSO MIA (ジーソミア)) 破棄などで関係悪化の一途をたどる。拉致問題をめぐる北朝鮮問題、イランと米国の対立で緊張が高まる中東情勢、停滞するロシアとの平和条約交渉などが茂木氏を待ち構える。

安倍政権は官邸主導の外交を進めており、外相交代で方針の大きな変化はなさそうだ。前任の河野太郎外相は積極的に外国を訪問し、約2年の間に77カ国・地域、延べ123カ国・地域を訪れた。茂木氏がどんな外交手腕を発揮するののかも注目される。今月下旬にある国連総会出席に合わせた一連の外交日程がデビュー戦となりそうだ。

13:50

二階幹事長、初入閣の進次郎氏にエール「若手代表する政治家に」

自民党の二階俊博幹事長が、首相官邸のエントランスホールで記者団の囲み取材に応じた。安倍晋三首相と自民党幹部らで作る組閣本部の作業を終えたところで、今回の人事への感想を問われた。

小泉進次郎氏が初入閣することについては「若手を代表する政治家として大いに活躍をしていただきたい」とエールを送った。その二階氏の隣では、小泉氏本人が50人ほどの記者とカメラマンに囲まれていた。

13:42

放送局「電波停止」発言の高市氏、再び総務相に 心境の変化「特にない」

今回の内閣改造で、高市早苗氏が約2年ぶりに総務相に返り咲いた。

前回の総務相時には、放送局が政治的な公平性を欠く報道を繰り返したと政府が判断した場合、電波停止を命じる可能性に言及するなど、議論を呼ぶような歯に衣(きぬ)着せぬ言動もみられた。再任にあたって心境の変化について問われると、「特にない。気持ちを新たに、またゼロからのスタートということで取り組む」と抱負を述べた。

就任早々、日本郵政グループによるかんぽ生命の保険の不適切販売問題への対応も課題となるが、「利用者の利益を損なうことをやらかしたというのはけしからん。ものすごくがっかりしている」と述べ、早期解決に意欲を示した。



認証式を前に、首相官邸に入る高市早苗氏＝2

019年9月11日午後1時28分、高橋雄大撮影

13:40

『これやれ』つつつて…「元オリンピックの立場で」「GAF Aとか」 新閣僚の表情様々



首相官邸に入る竹本直一・新科学技術相＝201

9年9月11日午後3時25分、越田省吾撮影

首相官邸での「呼び込み」を終え、初入閣を果たした議員たちは様々な表情でエントランスホールに下りてきた。

「せっかく『これやれ』つつつて選んでくださったんだから、その選んでくれた人の期待に応えるように全力を尽くします」。地方創生相に就く北村誠吾衆院議員(72)＝当選7回＝は、記者団から意気込みを問われてもぶぜんとした表情で無言を貫き、ハイヤーに乗り込む間にこう語った。

五輪に出場経験がある元スケート選手、橋本聖子参院議員(54)＝当選5回＝は五輪相に。記者団に「私自身、元オリンピックという立場でもあるので、オリンピック・パラリンピックの素晴らしさを新たな産業に構築していくことも含めて取り組みたい」と意気込んだ。

竹本直一衆院議員(78)＝当選8回＝も待望の初入閣。IT担当相を任せられ、「責任の重さを痛切に感じている。宇宙開発、IT、GAF A(グーグルとアマゾン、フェイスブック、アップル)とか、色々なもので日本は後れをとっているとされる。日本が未来永遠に伸びゆく国家にしなきゃいけない」とやや大上段に構えた。



認証式を前に官邸を出る北村誠吾氏＝2

019年9月11日午後1時43分、越田省吾撮影

13:25

菅官房長官が閣僚名簿を読み上げ 河野防衛相「横滑り」と紹介

閣僚に内定した政治家たちが呼び込まれる首相官邸の記者会見室で、菅義偉官房長官による閣僚名簿の読み上げが始まった。菅氏はまず、自身の留任を発表。同席した西村明宏、岡田直樹の新官房副長官を紹介。菅氏は外相に起用される茂木敏充氏や、防衛相になる河野太郎氏について「横滑り」と表現した。

13:25

初入閣の進次郎氏、姿を見せる 留任麻生氏と握手

今回の内閣改造の「目玉」となった小泉進次郎衆院議員(38)＝当選4回＝が、この日初めて報道陣の前に姿を見せた。閣僚の「呼び込み」を取材しようと首相官邸のエントランスに詰めかけた報道陣は200人超。小泉氏が官邸に入ると、一斉にカメラのフラッシュがたかれた。

第4次安倍再改造内閣の顔ぶれ

 副総理 財務 一筋 麻生 太郎 78 衆議福岡8	 防衛 河野 太郎 56 衆議神奈川15
 総務 高市 早苗 58 衆議奈良2	 官房 一筋 菅 義偉 70 衆議神奈川2
 法務 河井 克行 56 衆議広島3	 復興 田中 和徳 70 衆議神奈川10
 外務 茂木 敏充 63 衆議熊本5	 国家公安 防災 武田 良太 51 衆議福岡11
 文部科学 萩生田光一 56 衆議東京24	 労働 総務 衛藤 晟一 71 参議比例(衆参)
 厚生労働 加藤 勝信 63 衆議岡山5	 科学技術 竹本 直一 78 衆議大阪15
 農林水産 江藤 拓 59 衆議宮崎2	 経済再生 西村 康徳 56 衆議兵庫3
 経済産業 菅原 一秀 57 衆議東京9	 地方創生 北村 誠吾 72 衆議長崎4
 国土交通 赤羽 一嘉 61 衆議兵庫2=公	 五輪 橋本 聖子 54 参議比例
 福援 小泉進次郎 38 衆議神奈川11	中野幹路、留は留任、名前 の後の数字は年齢、丸数字 は当選回数、数字と数字は 選挙区、公は公明党

第4次安倍再改造内閣の

顔ぶれ

呼び込みからエントランスに下りてきた麻生太郎財務相が小泉氏に歩み寄って握手を交わす場面も。環境相として初入閣する小泉氏はこれまで、マスコミへの露出をコントロールしてきた経緯がある。今後は基本的に週2回、閣議後の記者会見で報道陣の質問を受けることになり、「露出」が増えそうだ。

新閣僚の課題＝野口陽記者

新経産相は元商社マン 輸出規制めぐり日韓対立どうする

新たに経済産業相となる菅原一秀衆院議員（自民）は商社勤務の経験があり、経産副大臣を務めたこともある。そんな菅原氏がまず直面するのは、韓国との対立だ。

経産省は7月、韓国で生産が盛んな半導体をめぐり、日本への依存度が高い関連材料3品目の輸出規制を強化した。8月には、規制強化策の「第2弾」として、韓国を安全保障上問題がない国として輸出手続きを簡略化できる優遇国（ホワイト国）から除外した。

韓国元徴用工らへの損害賠償判決問題への事実上の対抗措置と見られており、この措置に韓国は強く反発。アジア太平洋経済協力会議（APEC）など複数の国際会議の場で日本を批判したり、日本を輸出優遇国から除外する手続きを進めたりと対立は深まっている。韓国政府は11日、「第1弾」の3品目の輸出規

制強化が世界貿易機関（WTO）協定に違反するとして、提訴の手続きに入ると発表した。

前任の世耕弘成氏は強硬姿勢を崩さず、両国の関係改善の兆しは見えていない。この間、韓国人の訪日客が減り、韓国で日本製品の不買運動の動きも出るなど、日本経済へのダメージも出始めている。菅原氏には、対話の糸口を探ることがまずは求められそう。

10月の消費増税にあわせて始まるキャッシュレス決済によるポイント還元策について、不正アクセスなどの問題を起こさずに軌道に乗せることも目下の課題となる。

13：20

首相官邸で新閣僚の呼び込み始まる

首相官邸のエントランスホール。次々と黒塗りの車が横付けされ、閣僚に内定した政治家たちが姿を見せた。内閣改造に伴う「呼び込み」が始まった。麻生太郎財務相らが緊張した面持ちで記者団やカメラマンの並ぶホールを進み、首相の待つフロアに向かった。

13：00

安倍首相と公明の山口代表が党首会談

安倍晋三首相（党総裁）は首相官邸で公明党の山口那津男代表との与党党首会談に臨んだ。自公連立政権の継続を確認するほか、首相が強い意欲を見せる憲法改正についても話し合われるとみられる。この後、組閣本部が設置され、新閣僚の呼び込みが始まる。



与党党首会談に臨む安倍晋三

首相（中央右）と公明党の山口那津男代表（同左）。右は自民党の二階俊博幹事長、左は公明党の斉藤鉄夫幹事長＝2019年9月11日午後1時2分、首相官邸、越田省吾撮影

12：00

「数々の成果上げた」 安倍首相、閣僚の辞表をとりまとめねざらう

安倍晋三首相は内閣改造に向け、臨時閣議で閣僚の辞表をとりまとめた。閣議後に記者会見した菅義偉官房長官によると、首相は「改革に取り組んできた仲間として引き続き、それぞれの立場で国民の負託に応えるべく、安倍内閣のさらなる挑戦に力強いご支援をいただければ幸いです」と強調。「みなさんとともに全世代型社会保障に向けた改革、地方創生、災害に強い国づくりなどに取り組み、数々の成果を上げることができた。みなさんのご尽力に、心から感謝申し上げる」と閣僚たちの労をねぎらったという。

首相を除く19人の閣僚のうち、改造に伴い15人が閣外へ去る。

寸評＝小野甲太郎記者

入閣内定電話は首相から 「明日まで口外しないように」とクギ

も

内閣改造・党役員人事で新たな役職に就く政治家には、安倍晋三首相から直接電話が入ることが一般的です。所属する派閥の領袖（りょうしゅう）から連絡を受けることもあります。入閣待機組の政治家にしてみると「内定」の電話が入るかどうかは、政治家人生のハイライトともいえます。

ある閣僚経験者によると、初入閣の際、改造前日に首相から携帯電話に連絡があったといいます。「内閣で働いてもらうことになった」。ポストについて問うと「それは明日伝える」と言われて電話が切れたそうです。

別の閣僚経験者の場合は同じように電話がかかってきて「●●大臣をやってもらおうのでよろしく」とポストも同時に伝えられました。そして、「この件は明日まで口外しないように」とクギを刺されたといいます。この経験者は「ポストが公になることで横やりが入ったり、文句が出たりしてハレーションが起こるのを避けるためではないか」と話しました。

こうした「内定」の電話とは別に、改造当日には「呼び込み」の連絡が入ります。事前に連絡が入っているため、呼び込みを受けてすぐに首相官邸に駆けつけることができます。皇居で行われる天皇陛下による認証式で着用品が決められているモーニングやドレスの準備もできるのだといいます。

今回、入閣待機組の一人には「内定」の電話がありませんでした。「今回はダメだった。あきらめる」と関係者に言い残すと、肩を落として選挙区に戻っていきました。報道が先行する中「自分はどうなるのか」とジリジリしている人も多いのです。

河野太郎外相は10日午後、外務省内で「防衛大臣の内示が出ました。お世話になりました」と一足先にあいさつ回りを済ませていました。珍しい光景です。

11:20

改憲「党を挙げて」 自民党新四役、でも打開策なく

自民党新四役の記者会見では、安倍晋三首相（党総裁）が意欲を示す憲法改正をどう進めるかについて質問が相次いだ。二階俊博幹事長は「総裁のご意向に沿って、党を挙げて努力を重ねたい」としつつ、「円満に進むよう努力を重ねる」と謙虚な姿勢も強調した。

岸田文雄政調会長は「国会で議論し、国民に憲法について考えてもらう流れをつくらないといけない」。鈴木俊一総務会長は「成案が得られれば党としてオーソライズをとるのが必要ではないか」と党内手続きを説明するのみだった。

3人の会見の冒頭発言で、憲法改正については岸田氏が一言、触れたのみ。党憲法改正推進本部長から選挙対策委員長として四役入りした下村博文氏だけが「憲法論議が国民にわき起こるような対応をしなければならない」と力を込めた。

改憲勢力は参院で改憲発議に必要な3分の2を割り込んでいます。首相は役員会で「憲法改正を党一丸となって力強く進めたい」と呼びかけたが、四役は記者会見で具体的な打開策を示すことはなかった。

11:35

閣僚の辞表取りまとめる臨時閣議 15人が閣外へ、石破派はゼ

ロに

安倍内閣は午後の内閣改造に向け、閣僚の辞表をとりまとめるための臨時閣議を開いた。安倍晋三首相を除く19人の閣僚のうち、菅義偉官房長官と麻生太郎財務相が留任、茂木敏充経済再生相が外相、河野太郎外相が防衛相に「横滑り」する。

国土交通相を務めた公明党の石井啓一氏や、石破派から当選3回で抜擢（ぼつてき）されて外国人労働者の受け入れ拡大に向けた出入国管理法改正を進めた山下貴司法相ら15人が閣外に去る。今回の改造で、安倍首相と距離を置く石破派の閣僚ポストはゼロとなる。

一方、内閣を去る議員の中でも首相側近の世耕弘成経済産業相は今後、参院幹事長として参院自民党を陣頭指揮。鈴木俊一五輪相は党四役の総務会長として党運営を担う。



内閣改造を前に、臨時閣議に臨む

安倍晋三首相（中央）＝2019年9月11日午前11時34分、岩下毅撮影

11:20

「辞表を書かないと…」 鈴木五輪相、自民党新四役の記者会見を中座

「閣議があるんで。辞表を書かないといけないんで。失礼致します……」。NHKで生中継された自民党新四役の記者会見を、新任の鈴木俊一総務会長が中座する一幕があった。記者会見が始まって20分が過ぎたころ、司会者が「所定の時間が参っています。最後に1問、お願いします」と記者団に呼びかけると、鈴木氏はおもむろに立ち上がり、二階俊博幹事長らにこう説明。自民党本部から首相官邸に急いだ。

鈴木氏は五輪相から党総務会長に「横滑り」するため、この時点では閣僚でも党四役でもある。内閣改造を前に官邸で臨時閣議が開かれ、閣僚の辞表が取りまとめられるのが一連の手続き。辞表取りまとめる閣議に閣僚が出席しないわけにいかず、鈴木氏は党本部と官邸を慌ただしく動かざるを得なかった。

11:10

安倍総裁の4選、二階氏「決意固めたら支援」 自民党新四役決まる

自民党新四役が正式に決まり、東京・永田町の党本部で記者会見が始まった。顔ぶれは、再任が二階俊博幹事長と岸田文雄政調会長、新任が鈴木俊一総務会長と下村博文選対委員長。会見では、それぞれが抱負などを語った。

二階幹事長は安倍晋三首相（党総裁）の総裁4選について問われ、「総裁はまだ4選についてのご決意を表明されたわけではないが、もし総裁がそういうご決意を固められた時は、我々は恐らく国民のみなさんのご意向に沿う形をもって、党をあげてご支援を申し上げていきたい」と語った。

自民党総裁は党則で連続3期までとなっている。二階氏は20

17年にそれまで連続2期までだった党総裁任期を3期に延長する党則改正を主導した。今年7月の参院選の直後には4選論に言及した。



自民党新執行部の共同会見中、言葉を交わす二階俊博幹事長(右)と岸田文雄政調会長＝2019年9月11日午前11時10分、東京・永田町の党本部、恵原弘太郎撮影

二階俊博氏とは 持論は「国土強靱化」 小池知事と近い関係 幹事長職の連続在職日数が歴代最長を更新中。2016年8月、谷垣禎一・前幹事長の自転車事故を受けて就任して以降、総裁の連続3選を可能にする党則改正を主導するなどし、安倍晋三首相を支えてきた。

田中角栄元首相の薫陶を受け、「数は力」が信条。過去の離党者や民主党政権の中核メンバーを二階派に受け入れ、党内から冷たい視線を浴びる。党東京都連と対立する小池百合子知事と近いことも、来夏の都知事選に向けた火種だ。

中国とは独自のパイプを持つ。持論は、防災を軸に公共事業を進める「国土強靱(きょうじん)化」。

岸田文雄氏とは オバマ前大統領の広島訪問実現 酒豪で有名 安倍晋三首相とは1993年の初当選同期。2012年末から戦後歴代2位の4年7カ月にわたり外相を務め、オバマ米大統領(当時)の広島訪問を実現させた。17年には、初めて防衛相と兼務もした。

発言は慎重で、会長を務める岸田派からも「おとなしすぎ」と声も上がる。

「ポスト安倍」候補として、首相との良好な関係作りに気を配り、ゴルフも7年ぶりに再開した。8月中旬には首相とのゴルフも計画したが、台風で中止になった。

酒豪として有名で連日の酒席もいとわぬ。地元球団・広島カープを愛する。



自民党新執行部の共同会見に出席した(左から)二階俊博幹事長、岸田文雄政調会長、鈴木俊一総務会長、下村博文選対委員長＝2019年9月11日午前11時6分、東京・永田町の党本部、恵原弘太郎撮影 寸評＝斉藤太郎記者

辞任大臣、半数4人が二階派 それでも今回入閣2人内定

閣僚ポストを入れ替える内閣改造。安倍晋三首相にとって二階派の処遇は「鬼門」と言えます。第2次安倍政権で次の組閣を待たず辞任に追い込まれた閣僚は8人いますが、そのうち4人が二階派なのです。

記憶に新しいのは、昨年10月に五輪相として初入閣した桜田義孝氏。サイバーセキュリティーの担当閣僚でもありながら「パソコンを打つことはない」などと国会で答弁して批判を浴びた末、東日本大震災をめぐる失言で今年4月に辞任しました。

桜田氏のほか、2015年に「政治とカネ」の問題で西川公也氏が農林水産相▽17年に震災被災者を傷つける発言で今村雅弘氏が復興相▽18年に不安定な国会答弁の末に体調不良を理由に江崎鉄磨氏が沖縄北方担当相――をそれぞれ辞任。いずれも二階派に所属する政治家でした。

第2次安倍政権で二階派はこれまで9人の閣僚を輩出しましたが、半数近くが辞任したことになります。二階派は元民衆の議員の取り込みも含め拡大路線をひた走り、自民党内で第4派閥に躍り出ました。きょう入閣する衛藤晟一氏と武田良太氏の2人が二階派ですが、「汚名返上」を果たせるかも注目です。

10:30

安倍首相「憲法改正、党一丸となって」 役員人事後に改めて意欲



自民党臨時総務会を終え、手をつないで記念撮影に応じる新執行部の(左から)下村博文選対委員長、鈴木俊一総務会長、安倍晋三首相、二階俊博幹事長、岸田文雄政調会長＝2019年9月11日午前10時15分、東京・永田町の党本部、恵原弘太郎撮影

安倍晋三首相(自民党総裁)は役員人事後の初の役員会で、「党一丸」という言葉を使って憲法改正への意欲を改めて示した。二階俊博幹事長ら党4役、関口昌一参院議員会長ら役員の名前を挙げながら、「我が党の長年の悲願である憲法改正を党一丸となつて力強く進めたい」と語った。

首相は「憲法改正については国民の理解が何より大切だ。広報にも力を入れたい」とも訴えた。

09:15

環境相内定の進次郎氏、午前は姿現さず? 事務所前には報道陣 東京・永田町の衆院第1議員会館。国会議事堂の向かいに立つこの建物には、衆院議員らが事務所を構える。環境相に起用される見通しの小泉進次郎氏の朝の様子取材しようと、事務所前には多くの報道陣が集まった。ただ、小泉氏は不在。事務所によると、昼過ぎに首相官邸から呼び出しがあるまで、姿を見せない予定だとしている。



首相官邸で結婚を発表する自民党の小泉進次郎衆院議員(左)とアナウンサーの滝川クリステルさ

ん＝2019年8月7日午後1時45分、岩下毅撮影
09:10

安倍首相ら自民党幹部、続々と党本部入り

永田町の人事が動き出した。安倍晋三首相（自民党総裁）が東京・永田町の党本部に到着。二階俊博幹事長、岸田文雄政調会長、森山裕国会対策委員長ら党幹部も続々と党本部に入った。

安倍首相は総務会長に内定している鈴木俊一氏、選対委員長に就く下村博文氏らを党本部に呼び込み、新役員による初の役員会を開く。新役員は午前11時から記者会見する予定だ。



自民党本部に入る安倍晋三首相＝

2019年9月11日午前9時18分、東京・永田町の党本部、岩下毅撮影

07:30

経産相内定の菅原一秀氏、街頭演説でフライング気味に「所信表明」

経済産業相に内定した自民党の菅原一秀衆院議員は11日朝、地元・東京都練馬区で街頭演説に立ち、「経済産業省の責任者を務めることになった」と初入閣を報告した。「私のような、ややもすれば脱原発依存を訴えてきた人間が経産相を仰せつかる。極めて責任が重い。国民の命を守る、生活を守るエネルギー政策を進めていかないといけない」とも強調した。

ただ閣僚名簿はまだ正式発表前で、菅原氏は午後にある皇居での認証式を経て、正式に大臣に就任する。ややフライング気味に「所信表明」した格好になった。

菅原氏は演説に先立ち、記者団には「身の引き締まる思いでいっぱい。虚心坦懐（たんかい）、初心を忘れずにやっていきたい」と語った。



経済産業相に起用される見通しの菅原

一秀衆院議員。11日朝、地元の駅前で演説した＝2019年9月11日朝、東京都練馬区、永田大撮影

寸評＝斉藤太郎記者

ひしめく70人「入閣待機組」 初入閣最多13人で「在庫一掃」の声

安倍晋三首相は今回の内閣改造で、自身の政権最多となる13人を初入閣させる方向です。過去5回の内閣改造で自民党議員の初入閣の平均は8.4人。党側の「入閣待機組」を処遇した格好で、党内からも「在庫一掃」との声が上がっています。

現在の閣僚ポストは、首相と公明党の1枠を除くと18。衆院で当選5回、参院で当選3回以上で閣僚経験のない自民議員は「入閣待機組」と呼ばれ、約70人がひしめいてきました。

これまでの改造では特定の議員によるポストのたらい回しが目立ちましたが、今回は留任が最少の2人、横滑りや再登板は計4人ととどまりました。初入閣13人のうち、公明党の閣僚交代と当選4回の小泉進次郎氏の抜擢（ぼってき）を除き、11ポストが待機組に割り当てられた構図です。

今回に次いで初入閣が多かったのは昨年改造。直前の党総裁選で3選した首相から各派閥への「恩返し」の結果でした。さらに今回、首相は自らに近い待機組も閣内で処遇しました。

内閣支持率が30%台に下がっていた状況での17年の改造では、初入閣は6人ととどまりました。首相が安定感を重視し、閣僚経験者の再登板を駆使したからです。今回の身内や各派閥への厚遇は、多弱状態の野党に対する首相の「余裕ぶり」が透けてみえます。

寸評＝斉藤太郎記者

進次郎氏初入閣のサプライズ、長期政権の「マンネリ感」打ち消す狙い？

安倍晋三首相は今回の内閣改造で「サプライズ人事」を断行しました。知名度抜群ながら自らと距離を置いてきた小泉進次郎氏の初入閣です。長期政権で人事を重ねる中、「マンネリ」感を打ち消す狙いがあった可能性があります。

安倍首相が2012年末に政権の座に返り咲いてから、組閣は9回目になります。閣僚を入れ替えるのは時の首相が局面を転換する好機ですが、安倍首相はサプライズ人事を好んできませんでした。

第2次政権発足後、安倍首相はまず2年近く人事を凍結しました。その後は年1回、夏から秋にかけて改造をしています。途中で衆院解散に踏み切っても、「年1回の夏から秋」の人事を繰り返してきました。

朝日新聞社の内閣支持率をみると、過去5回の改造で上昇効果がみられたのは14年（42%→47%）と15年（35%→41%）の2回だけ。その中で「目玉人事」を駆使したのは14年でした。女性閣僚を過去最多と並ぶ5人起用し、首相は「女性が輝く社会の実現も安倍内閣の大きなチャレンジです。まず隗（かい）より始めよ」と胸を張りました。ただ、看板はずの小渕優子経済産業相と松島みどり法相が「政治とカネ」などの問題で相次いで辞任に追い込まれました。

この改造を除けば、「定期異動」のような人事が続きました。自らに近い議員で政権の骨格を固めて年に1回、自民党内の不満のガス抜きをする――。これが安倍政権下の改造の定石と言えます。改造前後の内閣支持率も16年（45%→48%）、17年（33%→35%）、18年（41%→40%）はほぼ横ばいでした。

今回、首相は側近や「待機組」を処遇しつつ、「進次郎カード」を切りました。直近の内閣支持率は42%。世論がどう反応するかも見ものです。



認証式を前に首相官邸を訪れ、

エントランスで麻生太郎財務相（左）と握手する小泉進次郎氏＝2019年9月11日午後1時25分、越田省吾撮影

内閣改造、外国人特派員はこう見る 日韓関係「外相の交渉力に注目」 改憲「議論進んだ」

2019/9/14 23:00 日本経済新聞 電子版



記念撮影に臨む第4次安倍再改造

内閣の閣僚ら（11日、首相官邸）

<p>英タイムズのロイド・パリー氏</p> <p>小泉氏以外の閣僚は首相のイエスマンだ</p> <p>日韓や日ロ、なにか変わると思えない</p>	
<p>仏ルモンドのメスメール氏</p> <p>首相に忠実で目標を共有する人を集めた</p> <p>日韓問題、米国が介入すれば動く可能性も</p>	
<p>韓国中央日報の尹氏</p> <p>日韓問題、結局は首相の決断に</p> <p>改憲にはハードルもステップは踏んでいる</p>	
<p>中国経済日報の蘇氏</p> <p>日韓の歴史問題、経済に広げるな</p> <p>憲法が喫緊の課題かは疑問だ</p>	
<p>米ウォール・ストリート・ジャーナルのランダース氏</p> <p>内閣より国家安全保障局長の人事に注目する</p> <p>経済腰折れへの対応が試金石だ</p>	
<p>ロシアタス通信のゴロブニン氏</p> <p>北方領土問題、どの大臣でも前途期待できず</p> <p>異例の人事で防衛相のウエートが重く</p>	

第4次安倍再改造内閣では小泉進次郎氏の入閣などが注目された。東京に駐在している外国人特派員は内閣改造をどう見たのか。

米英仏など6カ国の記者に聞くと、日本とは少し違う各国の視点が浮かび上がる。

英紙タイムズのロイド・パリー東京支局長は「小泉氏が唯一の興味深い人物だ。他の閣僚らは首相のイエスマンという印象だ」と述べた。韓国紙、中央日報の尹雪瑛（ユン・ソルヨン）氏は「小泉氏が原発や汚染水問題をどう解消していくか、韓国で注目されている」と語った。

仏紙ルモンドのフィリップ・メスメール氏は「安倍晋三首相に忠実で目標を共有する人を集めた。首相は強い力を握っており、反対派がいない恩恵を受けている」と分析した。「2年後に経済や政治状況が悪くなければ4期目の任務を果たせる」と自民党総裁4選の可能性に言及した。

内閣改造後の日韓関係はどうか。尹氏は「茂木敏充氏は経済財政・再生相として日米貿易交渉でタフな姿勢をみせた。外相としてもタフな日韓関係をスムーズに展開することを期待する」とコメントした。「結局は首相の決断になる」とも話した。中国紙、経済日報の蘇海河東京支局長は「日韓の歴史問題を経済にまで広げるのは好ましくない」と強調した。メスメール氏は「米国が介入すればなにかが動く可能性があるが、そうでなければ変わらない」との見方を示した。

米紙ウォール・ストリート・ジャーナルのピーター・ランダース東京支局長は国家安全保障局長の交代に触れ「内閣の布陣見直しより、外交の専門家ではない警察庁出身の北村滋氏の局長就任に注目している」と述べた。

日ロ平和条約交渉について、ロシアのタス通信、ゴロブニン東京支局長は「北方領土問題で具体的に話し合う材料はない。どんな大臣でも大きな変化、前進は期待できない」と冷静だった。最も興味深い人事として河野太郎氏の外相から防衛相への横滑りを挙げ「異例の人事で防衛相のウエートが重くなるのではないかと語った。

ロイド・パリー氏は日韓や日ロの問題を「新内閣でなにかが変わるとは思えない」と断じた。蘇氏は「日ロ両国の目的と基本条件にズレがある。相手の立場も知り、お互いのメリットになる解決方法を探すしかない」と強調した。

首相が意欲を示す憲法改正に関し、尹氏は「改憲にはハードルがあるがここ数年で議論はかなり進展した。ステップは踏んでいる」との認識を示した。蘇氏は「憲法が喫緊の課題なのかは疑問だ。日本に必要なのは経済、少子高齢化、財政に関する問題への対処だ」と主張した。

メスメール氏は「すでに減速しているように見える日本経済で消費税率を上げれば、個人消費は減少する可能性がある」と指摘した。ランダース氏は「消費税増税で景気腰折れの兆候が出た場合、いかに早く対応できるかが新内閣の試金石になる」と予測した。

しんぶん赤旗 2019年9月14日(土)

停電 遅れる復旧なぜ 台風15号 「想定甘かった」と東電 人員・設備投資減が影響か

台風15号による大規模な停電の復旧が、東京電力の当初の発表から大幅に遅れています。同社は会見で見通しの甘さを認めま

した。同社は人員や送配電設備への投資額を減らしてきており、関係者は「被害拡大と復旧の遅れの遠因となっているのでは」と指摘します。(原千拓、安川崇)

千葉県南房総市の女性(73)宅では13日も停電が続きしました。「1日ごとに先延ばしにされている感じがして、そのたびに『えーっ』と声を上げたくなる。きちんとした見通しがあれば」と訴えます。

台風上陸翌日の10日午後、東電は「今夜中に(停電が)約12万軒まで縮小する見込み」と発表。残りについても「明日中の復旧を目指す」としていました。

しかし、上陸から5日目の13日午後6時時点でも、18万5000軒が残っています。東電は同日夜の会見で、同日から2週間以内に「おおむね復旧する」との認識を示しました。

東電は遅れの原因について▽雷雨による作業中断▽夜間作業の効率低下▽倒木などが作業の支障となるケースが多く判明した一などと説明。12日の会見では当初の見通しについて「被害実態を把握できていない段階で出した。想定が甘かったと反省している」と述べました。

被害が大きかった理由として、台風の風が設計の想定を超えていた可能性はあります。経産省の省令は、電柱などについて風速40メートルに耐える強度を求めています。今回、千葉市では最大瞬間風速57.5メートルを観測しました。

一方、東電OBの鈴木章治さんは「コストカットの中で、設備の十分な保守・点検ができていたかどうかは検証する必要がある」と話します。

東電は電力自由化で大口需要家市場に他社の参入が始まった2000年代から経営合理化に大きくかじを切り、11年の原発事故で賠償・廃炉に巨額の出費が見込まれたことがさらに拍車をかけました。

事故後の新卒採用の抑制で数千人の人員を削減したほか、14年には50歳以上の社員1000人以上が希望退職に応じたといわれています。

1991年に9千億円あった送配電設備への投資額が、昨年は3千億円でした。

コスト削減の一環で設備交換の見直しも進めています。電柱を取り替える基準を改め、年間の交換本数を40%、費用100億円を圧縮(14年)したことも自社ホームページで紹介しています。

東電は取材に対し、「電柱などの設備は点検結果に基づいて適切に毎年更新している。投資の抑制で電柱が老朽化したということはない」と説明します。

鈴木さんは「人減らしてベテランが職場を去り、技術継承に不安を残した。メンテナンスを先延ばしにする姿勢も続いている」と指摘します。

しんぶん赤旗 2019年9月15日(日)

横田「友好祭」 オスプレイ機関銃公開 銃口向け飛行 正当化狙う



(写真) CV22 オスプレイの後部

部に取り付けられたGAU21 重機関銃=14日

米空軍は14日から2日間の日程で、横田基地(東京都福生市など5市1町)を一部開放する「友好祭」を開き、米軍・自衛隊機を公開しました。

この中で、昨年10月に正式配備された特殊作戦機CV22オスプレイの機体後部ランプ(斜路)には重機関銃が取り付けられていました。米軍の説明によれば、ブローニングM2重機関銃を発展させたGAU21重機関銃です。

横田基地周辺では、CV22が銃口を市民に向けて飛行するケースが急増しており、不安の声が広がっています。あえて重機関銃を公開することで、銃口を向けたままの飛行を正当化する狙いがあるものとみられます。

友好祭では同日、米空軍C130輸送機から陸上自衛隊の第一空挺(くうてい)団(千葉県・習志野駐屯地)がパラシュート降下を行い、日米一体化を誇示しました。

基地付近で、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」が終日、宣伝行動を行いました。

しんぶん赤旗 2019年9月15日(日)

辺野古 官製談合疑惑 日曜版スクープ 資材単価 入札前に示す

(1) 岩ズリ及び砕石の単価は現場渡し単価を設定するものとし、以下の単価とする。なお、工事期間を通じて、運搬時における待機費用など想定し得ない事象が生じて、この単価により履き条件となった際には監督官と協議するものとする。
岩ズリ：11,390円/m³(運搬距離：80海里、運搬船舶規格：ガット船(499GT))
海砂：2,450円/m³(沖縄県実施設計単価表平成30年1月版)

(写真) 沖縄防衛局が岩ズリの単価を伝えた補足説明書の仕様書
沖縄・辺野古の米軍新基地建設埋め立て工事の入札前に、発注者の沖縄防衛局が、工事費の大半を占める資材単価を入札参加希望業者に教えていました。発注機関職員が予定価格や入札に関する秘密を教示することを禁じた官製談合防止法に抵触する疑いがある、と専門家は指摘しています。(日曜版9月15日号で詳報)

問題の工事は2018年2月8日に入札が行われた「シュワブ(H29)埋立工事(1~5工区)」。大手ゼネコンが幹事社の共同企業体などが受注しています。

入札前の同年1月25日、沖縄防衛局は工事の主要資材である岩ズリ(規格外の砕石)の単価(1万1290円/立方メートル・運搬費込み)を記載した「補足説明書」を入札参加希望業者にファクスで送付しました。岩ズリの単価は、沖縄防衛局が予定価格を見積もるため民間会社に委託して「特別調査」したものです。

会計検査院元局長の有川博・日本大学総合科学研究所客員教授は「官製談合防止法に抵触する疑いがある」と指摘します。「積算の過程は守秘する必要がある。しかも埋め立て工事費のなかで岩ズリ価格は大きな割合を占める。その単価を入札前に業者に伝

えるのは、予定価格を教えることに匹敵する」

工事の契約金額のうち岩ズリ価格は約4割から6割超を占めます。

岩ズリの単価については日本共産党の小池晃書記局長が参院予算委員会（3月5日）で、新基地建設の他の工事に比べ3倍も高いことを追及しています。

新基地建設で実際に岩ズリを出しているのは「琉球セメント」。沖縄政界と深い関係があり、毎年のように自民党や公明党、日本維新の会の支部などに献金しています。

しんぶん赤旗 2019年9月13日(金)

河野氏「辺野古が唯一」 新基地推進 強行の姿勢

河野太郎防衛相は11日の記者会見で、沖縄県の米軍普天間基地（宜野湾市）の返還に関し「辺野古移設が唯一の解決策だ」と述べ、辺野古新基地（名護市）建設推進を強行する姿勢を示しました。県民投票や知事選、国政選挙などで示された新基地反対の民意を無視するものです。

日韓関係について、徴用工問題や韓国による日韓軍事情報包括保護協定（GSOMIA）の終了決定などで「やや感情的とも思えるようなリアクションがあって、厳しい状況にあるのは現実」と認める一方で、「日韓の軍事的、安全保障的なことについては、北朝鮮の脅威がある中で、しっかり連携をとっていくことが大事だ」と語りました。

配備候補地の秋田、山口両県から根強い反対の声がある陸上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備を、「ミサイルに対する防空能力の強化は、国民を守るためにしっかりとやっていかなければならない」と強調。「再調査を進め、しっかり説明していきたい」と述べ、配備計画は変更しない考えを示しました。

茂木外相、ポンペオ氏と電話協議 中東、北朝鮮情勢で連携確認

毎日新聞 2019年9月16日 23時07分(最終更新 9月16日 23時20分)



日米外相電話協議の後、記者団の取材に

応じる茂木敏充外相＝外務省で 2019年9月16日午後9時34分、鈴木一生撮影

茂木敏充外相は16日夜、米国のポンペオ国務長官と約20分間電話で協議した。電話協議は外相就任後初めて。両外相は17日にニューヨークで開幕する国連総会に合わせて日米外相会談を行うことで一致した。緊迫する中東情勢について意見交換したほか、北朝鮮情勢を巡っても引き続き緊密に連携することを確認した。

茂木氏が協議後、外務省で記者団に明らかにした。茂木氏によると、サウジアラビアの石油施設が無人機（ドローン）の攻撃を受けた問題では、ポンペオ氏から情報提供を受けたという。ポン

ペオ氏はツイッターでイランの直接の関与を指摘している。ポンペオ氏は協議の中で、茂木氏が15日に発表した「テロ攻撃を強く非難する」との談話を評価したという。

協議では、元徴用工問題などで悪化する日韓関係も話題になった。茂木氏は、韓国による日韓軍事情報包括保護協定（GSOMIA）の破棄決定を念頭に、「北朝鮮問題などで日米、日米韓の連携がこれほど重要な時期はない。安全保障における連携が壊れることがあれば、大きな問題という認識を（両外相で）共有した」と述べた。【鈴木一生】

米原子力空母が出港へ 14日に横須賀基地から

産経新聞 2019.9.13 13:55

神奈川県横須賀市は13日、米海軍横須賀基地に配備されている原子力空母ロナルド・レーガンが14日に同基地を出港すると発表した。周辺海域の警戒任務に当たる長期航海に出るとみられる。

ロナルド・レーガンは8月、乗組員の休養や補給などを目的に、約3カ月間の長期航海から帰港していた。

前回の長期航海中には、フィリピン海や南シナ海で警戒任務に当たったほか、オーストラリア海軍や海上自衛隊などの合同軍事演習に参加。事実上の空母への改修が決まっている海自のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」とも共同訓練を行った。